



シルバーだより

No. 364
令和3年4月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 令和3年度の出発にあたって —

理事長 岡田 芳子

令和3年度が始まりました。

開講・入学式が4月16日に挙行されます。役員の皆様が準備をすすめて下さっています。

ご存じのように令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防による国からの自粛要請で様々な行事が中止になりました。学習におきましても、ほとんどの教室で十分にできませんでした。心苦しく思っておりますが、講師・学生の皆様はご理解下さり、どうか令和2年度を閉講することができました。そんな中、令和3年度の募集が教室中心で事前に行われた後、一般募集が行われました。コロナ禍の中、学生が集まるだろうかと心配でしたが、シルバー大学は、一人一人の学生が学校の経営者となって「おらが学校」という思いで募集に力を入れて下さいました。

ところで3月17日、令和2年度の閉講・卒業式が人数制限の中、サンパール荒川で行われました。前半は閉講・卒業式で49名の卒業生(5年間学んだ学生)。後半は、20分の間をあけての受賞式で、奨励賞(10年学んだ学生)47名、学長賞(20年学んだ学生)13名、理事長賞(30年学んだ学生)はおりませんでした。長寿賞(100歳の学生)が1名いらっしゃいました。この学生は、シルバー大学創立2年目から学び、今でも常任理事として歴史を語り、シルバー大学のあり方を助言して下さいます。以上が令和2年度の受賞者で、今後もほとんどの学生が学び続けます。この他に退任される講師・助手・役員の皆様に感謝状が贈られました。ありがとうございました。



今年度は、学習がスムーズに行われることを願うばかりですが、先が読めないコロナの現状です。学習する場所である生涯学習センターを中心に、その他ひろば館・ふれあい館等は荒川区のご理解ご協力(西川太一郎区長様、区議会議員、そして区役所の方々)のおかげです。区報等で施設の利用状況が掲載されますのでご覧下さい。

そして、学習に参加する折は、ご自身の健康第一で、その日の体調に充分気をつけて下さい。私は社会とかかわることは健康の条件の大事な一つと思います。楽しく学習できることを願う日々です。

《《 東日本大震災 あれから 10年 》》

2011年3月11日で10年になる。あの日、テレビで見た光景は今でも目に焼き付いて、はっきりと思い出すことができる。私はテレビ画面に釘付けになって、何も手につかず呆然としていた。その翌日、福島原発が爆発し、巨大津波と原発事故が重なり、誰もが体験したことのない未知の複合災害となった。放射能が拡散して避難区域と指定された富岡町、双葉町、大熊町…の人々は各地への避難を余儀なくされた。原発は安全と信じていたが、現実起こったことは余りにも想像を絶する状況だった。時の政権は民主党、総理大臣は菅直人、事故現場の混乱ぶりに注目が集中した。

私は2012年8月末、「復興支援ツアー」に参加した。上野から新幹線で盛岡へ、そこからバスに乗り換え岩手県田野畑村へ。そこで被災者の語り部の方から体験談を聞いた。草が生い茂っていた場所で「ここには私たちの集落があり、三陸鉄道の駅舎もあった」との説明があったが、全てなくなっていた。三陸鉄道は不通になっていたが、運行していた久慈から田野畑まで車中から海を眺めた。海面はキラキラと輝き、松林は緑鮮やかで、



あの日起こったことが信じられないほど穏やかだった。しかし、眼を転じれば、瓦礫が積み上げられ、土台だけになった住居跡が痛ましい状況で残されていた。

翌年の6月初め「震災後の福島に正しく向き合うために福島の今を学ぶ旅」一泊旅行に参加した。福島第一原発危険地域、大熊町の皆さんが住む会津若松市の仮設住宅を訪ねた。3月11日午後2時46分地震と津波が襲った。翌朝6時頃「福島原発が危ない。避難するように」との連絡があり、まずは年寄りや子供がバスに乗り込み、その8時間後、茨城交通のバス37台に乗り、三春町の体育館に落ち着いた。飲まず食わずで移動し、夜10時頃やっと毛布が配られた。そこで、原発の爆発があったことを知った。話してくださった自治会長は、原発の作業員として40年働いていたそうだ。その後いわき市を訪問した。海岸沿いは、9メートルの防潮堤のかさ上げ工事中だった。福島の産物は、風評被害で売れなくなってしまったが、厳重検査を受けているので安心して食べて欲しいと言っていた。

2020年3月の新聞に不通になっていた富岡―浪江間が再開し、常磐線全面開通という記事があった。コロナ禍のため、外出を控えていたが、10月思い立って出かけた。上野発8時ひたち3号に乗り浪江着11時14分。駅前には何もなくタクシーが1台止まっているだけだった。運転手さんをお願いして原発が見える場所に案内してもらったが、ここから先は行けないと言われて車から降りた。遠くに原発の塔(?)が、ぼんやり見えた。そこから近くの請戸(うけど)小学校へ行った。曲線を描く洒落たデザインの学校だった。津波で廃校になり遺構として残されるそうだ。放置された田畑は草で覆われ、道路を挟んだ片方は焼却炉が煙を吐き出していたが、あの当時は瓦礫が山を作り、毎日大量に燃やされていたそうだ。駅周辺にも町なかにも店らしいものは何もなく、数件あった仮店舗で海鮮丼を注文した。

8月に「道の駅なみえ」がオープンしたと聞き立ち寄った。木材を使った「なみえ」は産地直売をメインに、当地グルメの“なみえ焼きそば”も販売していた。帰途は車窓から原発事故の痕跡はないかと見つめていた。双葉駅、大野駅辺りには黒いビニール袋が積まれていた。海岸線はかさ上げ工事中のブルドーザーやトラックが動いていた。浪江駅にパンフレット『『廃炉の大切な話』経済産業省 資源エネ

ルギー庁」が置かれていた。原発事故と廃炉への道筋が描かれている。汚染水のタンクの処理、廃炉まで 30 年～40 年と目標が示されていたが、果たして実現するのだろうか。

常磐線福島辺りは太平洋のすぐ近くを走っている。穏やかな美しい海岸線を眺めていると、10 年前のあの荒々しい津波の出来事が信じられない。

主(あるじ)のない空き家に柿の実が沢山なっていた、青空に映えて…。痛ましい…。

東日本大震災直後、荒川区にも多くの方が避難されました。当時広報部の一員としてその方たちに何度かお話を伺う機会がありました。その後、いかがお過ごしでしょうか。

(2021 年 1 月 26 日 自分史教室 井口 和子)



絵手紙 B 教室の作品です

《《 「歌声喫茶」のような教室 》》

元歌声クラブ教室助手 高橋 建司

学生時代に友人と通った新宿の“ともしび”店がコロナの影響で、復活の含みを残して昨年 9 月に休店した。昭和 30 年代、安価なコーヒーやジュースを飲みながら、小さな歌集と軽妙な司会(リーダー)と一つのアコーディオンで唱歌、ロシア民謡、労働歌、反戦歌等を知らない同士で歌う楽しさは今でも忘れられない。人々の連帯感を生む歌声喫茶の人気は上昇し、連日満員となった。

その頃の年代の方が多いいシルバー大学の教室に「歌声クラブ」の案を私が持ち込んだのは 11 年前。当時は、文化系の教室に助手を置く制度がなく、役員の方たちに理解してもらうのに苦労した。ピアノの先生とリードする人がいない教室は、私には考えられなかったのである。

「歌声クラブ」は今年度で 10 年目を迎え、受講生が最多の教室になり、歌声喫茶を知らない世代も増えてきた。この歌は誰の作詞作曲か、歌のできた年代や背景なども解説し、9 年間でざっと数えて 2000 曲以上を語り、歌ってきた。

教室のルールができた。私の役目は終わりに近づいたようである。



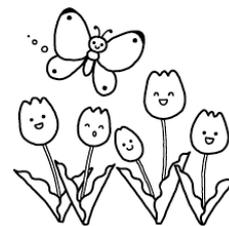
4月の行事

令和3年度 開講・入学式

期日：令和3年4月16日（金） 時間：午後2時（受付：1時半より）

会場：ムーブ町屋 ムーブホール

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 開式の言葉 | 1. 講師紹介 |
| 1. 理事長挨拶 | 1. 役員紹介 |
| 1. 新入生紹介 | 1. 校歌 |
| 1. 学長式辞 | 1. 閉式の言葉 |
| 1. 新入生誓いの言葉 | |



コロナ禍の人数制限により、式への参加は、新入生、講師、常任理事となります

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

- | | |
|--|--------------------------|
| 1日 次年度閉講・卒業式会場申請
(サンパール荒川・R4.3.22) | 17日 令和2年度閉講・卒業式
賞状授与式 |
| 2日 次年度開講・入学式会場申請
(ムーブ町屋・R3・4・16) | 卒業生 49名 |
| 3日 常任理事会・教室代表者会
地区班長会
(募集申込み状況/閉講式について・受賞者確認/開講・入学式) | 奨励賞受賞者 47名 |
| 4日 賞状準備 事務局 | 学長賞受賞者 13名 |
| 5日 賞状準備 (増山・伊東) | 感謝状受賞者 5名 |
| 10日 賞状確認 理事長・学長 | 長寿賞 1名 |
| 16日 広報委員会 | (サンパール荒川) |
| | 23日 保険加入書類作成 |
| | 26日 三役・企画部会議 |
| | 29日 令和3年度学校要覧作成 |
| | 30日 シルバーだより 364号作成 |

※ 事務局だより ※

コロナ禍2年目の春です。感染予防対策基本の手洗い・マスク着用も、気が緩み疲れや慣れが生じる時期と感じます。気を引き締めて、シルバー大学生として模範を示して参りましょう。新入生そして在校生の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。当校は、自ら学ぶ事を志す人達が、自ら作った学習の場です。

1. 新年度書類配付について（各地区役員さんによる）

- ①シルバーだより4月号 ②令和3年度日程表 ③第一回目の持ち物

※従来の「学校案内」・「規約・名簿」は《学校要覧》として1冊になり、5月配付と致します。

2. 講師会について 4月23日（金）午後1時 会場：センター 大会議室

（事務所） TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

（ホームページアドレス） <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原



シルバーだより

No. 365
令和3年5月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 新年度、あなたの目標は？ —

学 長 木村 國子

開講・入学式から約2週間たち、3分の1の教室はすでに授業が始まりました。新しく入った方はもとより、継続して学んでいる方も、新年度を迎え新たな学びへの期待に胸をふくらませていることと思います。

新年度に当たり、自分のやりたいこと、目標とすることは何ですか。せっかく自分が選んで、好きなことの出来る教室に入ったのですから、小さな目標でもよいので立ててみませんか。

私のささやかな経験をお話しすると、定年退職後、直ぐに語学留学のために英国に渡りました。かねてからの夢であり、目標としていたことでした。英語をより深く学ぶためでもありましたが、異国の生活を体験し、文化に直接触れ、学校で出会う外国の人々と交流したいと思ったからです。選んだ場所は、アガサクリスティーを生んだ英国南部のトーキーと、大学の街オックスフォードでした。



それぞれの場所で3校に通う中で、イタリア、スイス、ドイツ、オランダ、チェコ、ブルガリア、ノルウェイ、ポーランド、エジプト、韓国、中国、台湾などの生徒たちと仲良くなりました。彼らは、それぞれの国の風を運んで来るようでした。

ホームステイ先の家も特徴があり、大変質素な生活をしてきた一人暮らしのおばあちゃんの家や、テムズ川支流の広い庭を持つ大学教授の未亡人の家などで生活を共にし、良い経験となりました。

この年になっても「そんなことも知らないの？」と人から言われることが時々ある私ですが、何でも経験してみよう、人間万能ではないので、知らないことが恥ではないと思っています。知らないことに気付いて、そこから出発して、自分を高めていくことを心がけています。

読書も、その一つの手段です。今年はゆっくり、ジックリと多くの本を読みます。「広く、深く」を心掛け、他の人と意見や感想を交わし、考えをより深め、人生を楽しむことに致します。

小さな目標の一環として、3月に英語教室の生徒とチャリティーバザーを計画、実施しました。協力金14万円になり、全額シルバー大学に寄付致しましたので、ここにご協力のお礼とご報告をさせていただきます。

1年間の皆様の成果を期待しております。

●令和2年度 閉講・卒業式 : 3月17日 サンパール荒川小ホール

5年間の学習を無事終了し卒業されました49名の皆様、おめでとうございます。
10年間学習を継続され奨励賞を受賞されました47名の皆様、20年間学習を継続され学長賞を受賞されました13名の皆様、そして36年間学習を継続され長寿賞を受賞されました方1名、感謝状を授与されました5名の皆様、誠にありがとうございます。

賞状授与式の様子の写真と、卒業生・奨励賞・学長賞・長寿賞・感謝状受賞者のお名前を掲載いたします。



岡田理事長



木村学長



参列者の皆さん



授賞式の模様





原田名誉学長

各受賞者氏名（敬称略）

❁卒業生 49名

加納麗子・石川直子・福島しげ子・増田智佐代・佐藤一代・中城幸彦
松田明美・田中秀子・老川信喜・大野友子・高野洋子・小久保久夫
辻川桂子・柳 正枝・奈良 卓・花島泰雄・草野恵美子・星野弘明
野村祥子・土屋トミ子・沖田芳一・鈴木博子・丸 和子・太田テル子
石橋國男・近藤 明・藤田啓一・市川美也子・都澤治孝・小林和子
細貝光枝・丸山一枝・木下スミエ・矢尾光子・横山繁子・渡辺辰美
飯嶋光江・小山内登・小泉和子・横田政明・村田和子・安部洋一
藤野戸泰子・浅賀郁子・野島京子・岩瀬昭夫・八木以久郎・草野美津子
生出和子

❁奨励賞受賞者 47名

谷山良子・佐藤啓子・柴田紀子・井上与志乃・太田諏訪子・長谷川寿子
関根一枝・小島千代・大塚由紀子・清水貴子・加藤智枝子・山口和子
今泉 等・小野寺みよ子・五十嵐睦子・重田たか子・秋山芳子・竹内文江
村上久音・牛込美恵子・福井キミ子・三科マサ子・大澤つた江・松村眞津子
米村信雄・永井凉子・高山順子・大平和子・白井佳子・宮向井芳江
鈴木基之・松岡光子・宇野敬之・戸部正男・伊藤恵津子・内田圭子
橋ハツミ・入江庸行・春日美智子・佐々木清子・加藤富代・村山義博
村山たみ子・戸塚和江・岡田正規・中村久恵・松木ゆき子

❁学長賞受賞者 13名

尾島雄子・阿部成子・中島英子・中根光子・齋藤豊子・高松幸子・小島春栄
岩崎和子・佐藤エツコ・田中蔦恵・本橋華子・石原優子・小林ヒサ子

❁長寿賞受賞者 1名

後藤八重子

❁感謝状受賞者 5名

中山幸子(前源氏物語・文学散歩教室講師)・三枝三枝子(前器楽教室講師)
松本タキ子(前自然と小さな旅教室助手)・後藤王子(前東尾久地区長)
新井義三(前西尾久地区長)

お詫び シルバーだより No.364(令和3年4月号)にて以下の間違いがありました。

①2 ページ1行目 誤：2011年3月11日で10年になる。

正：2011年3月11日から間もなく10年になる。

②同2行目 誤：テレビ画面に 正：テレビの画面に 以上です。

お詫びして訂正いたします。(広報部)

- 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴 (担当 広報部・パソコン教室講師 望月利一)
- ・2021/04/15 水墨画・輪踊り民舞 日程変更 ・2021/04/13 今と昔の歴史散歩
 - ・2021/04/13 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより
 - ・2021/03/29 社会科見学・自然と小さな旅 ・2021/03/22 パソコン
 - ・2021/03/19 各教室新年度日程・年間予定表 ・2021/03/15 パステル・絵の具画

5月の行事予定

期日	行 事	講師プロフィール
21日 (金)	<u>令和3年 第1回合同講義</u> 感染は口から始まり、口で逝く ～新型コロナから認知症まで～	岡山大学 博士研究員 (元日本大学教授) 落合邦康先生
会場：サンパール荒川 3階 小ホール 時間：午後2時より		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4月) ◆◆◆◆◆

8日	新年度用書類発送・配付準備	26日	創立記念日
12日	常任理事会・役員会	26日	「学校要覧」作成・印刷へ
16日	開講・入学式(ムーブ町屋)	30日	シルバーだより365号作成
19日	特定教室名簿・出席簿他作成	30日	令和3年度 在籍者数(4/16締)
20日	広報委員会		学生在籍総数 733名
23日	講師会		(内新入生 66名)

※事務局だより※

1. 施設使用手続き時間の件：ご協力よろしくお願ひ致します。

【使用承認書の提出時間】 午前教室：9時30分～

午後Ⅰ教室：12時20分～ 午後Ⅱ教室：15時35分～

【終了後の鍵他の返納時間】 午前教室：12時まで

午後Ⅰ教室：15時まで 午後Ⅱ教室：18時40分まで



※荒川シルバー大学・事務所 開所時間のご案内

(月～金曜日) 午前9時30分～午後4時 ※土日祝祭日はお休みです。

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 366
令和3年6月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 所属感を生かそう —

学長代行 望月 公子

コロナワクチンの接種が始まりました。シルバー大学でも2年間コロナに振り回されてきましたが、これからは正常な学びが取り戻されるのではないかと期待しています。

4月23日に、今年度最初の講師会が生涯学習センターで開かれ、講師の方々からは、昨年度の報告と今年度の学習計画の説明がありました。

シルバー大学は、多種類の学習内容や多様な学習形態を有する学校ですので、コロナ対応も実に様々であり、この狭い紙面では説明しきれませんが、諸先生方が心を込めて授業の準備をし、学生の受け止め方を見ながら次の予定を再考されていること。そして緊急事態の対応に苦慮されながらも、今年度の学習計画を立て、万全の準備をして学生との再会を待っているとのことでした。

学生の皆様もこういった講師の方々の前向きな取り組みをご理解頂き、今年度の授業がスムーズに進行していくようご協力をお願い致します。

- ◎ 学生が意欲的だから、先生が熱心になるのか？
- ◎ 先生が意欲的だから、学生が熱心になるのか？

「私は思わず、先生方の思いを『シルバーだより』で伝えます」と言ってしまいました！



激変に次ぐ激変の世の中です。キャッシュレス、スマホ、コロナ、COVID-19、PCR検査、二重変異種など、言葉だけでも目が回りそうです。こうした時だからこそ、今まで培ってきたシルバー大学での交流による情報交換が、悩みを解決してくれるものと思います。たとえコロナで講義を受けられなくても、

- ・ シルバー大学の学生であること
- ・ 地域のメンバーであること
- ・ 教室の一員であること

に誇りを持ち、校歌にある『人と人との輪の花』を咲かせ、更にシルバー大学の学生であるという所属感を確認しつつ、この大事な時を乗り越えましょう！

《《 奨励賞いただきました 》》

「もしもし、シルバー大学で新しく絵の教室が始まるのだけれど、学生がまだ集まらなくて困っているの。あなた、絵が好きだから入りなさいよ。とっても素敵な先生なのよ。」

私のシルバー大学生活は、友だちのこの一本の電話から始まりました。

パステル画は、どう描くのか、材料は？全く分からないまま始まりましたが、何とかやってみれば元々好きなことですから、楽しく通えました。クラスの方から学ぶところ大で、あっという間の10年でした。

今では、月：何でも、火：日本の話芸、水：社会科見学、金：歌声クラブ、パステル絵の具画、と5つの教室に通い続けています。気功にも2年ほどお世話になりました。

顔を合わせ、話をし、教わる、という生活をこれからもまた10年は続けたいと思います。好奇心を持ち続けて。

(パステル・絵の具画教室代表 太田 諏訪子)

投稿

《《 コロナ禍で迎えた 10周年 》》

歌声クラブ教室講師 本田 晴子

今年度は、コロナ対応のため、火曜と金曜の二本立てで進むことになった。教室では、アラビアの国と間違えるような、目しか出ていない「月の砂漠」に出てくる王様と王女様で、さながら、よその国へ来たような感覚になる(美女かイケメンか定かではナイ)。三密を避け、声を控えめにして歌っている。

去年は、コロナの嵐に見舞われ、上半期、中止を余儀なくされた。ニュースでは、昼カラオケ、合唱でのクラスター発生が流れ、この状態ではしばらく無理かと思われたが、木村学長、高橋建司助手のご尽力により、何とか教室を開くことができた。再開した時は、皆さん、大変喜んで限られたひとときを一曲一曲愛しむように口ずさんでいた。

思えば平成24年、「歌声喫茶」のような歌える新教室として、原田名誉学長、高橋助手の発案により『歌声クラブ』教室が誕生。あれから10星霜、息切れすることなく駆け抜けてきた。教室では、扇子をマイクに見たて「女きみまる」の異名で少しでも皆が笑顔になれるよう心がけている。季節のうた、歌謡曲、民謡など今まで取り上げた曲は2000曲に及ぶ(高橋助手の調査による)。長い間教室を支えて下さった高橋助手は、この度、教室を離れることになった。寂しい限りであり、感謝の気持ちでいっぱいである。最後の教室では、高橋助手のリクエストで「星影のワルツ」を皆で歌いお別れしたが、私からは次の10年への思いを込めて、全員にこの曲を送りたい。「私とあなたの合言葉、音楽室で会いましょう」と。(「有楽町で会いましょう」の替え歌)



絵：本田講師

— コロナ終息と一同に会える日を願って —

女学生の頃の学生生活に心残りのまま大人になった私は、現役を退いた後には、自身の最終章を悔いを残すことなく、楽しく学べる学生生活を送り過ごしたいと強い願望を抱くようになりました。隣町の矢板にある、シルバー世代が学べる学校へ入学するつもりでいたのですが…。家の事情で、終の住み処であった那須高原の地を離れることとなり、2010年春に上京しました。

早くに学びたい気持ちを持ちつつ、30年ぶりの東京での生活に順応するまでに1年の期間を有してしまい、学生生活を送れるようになったのは、2年目の春である2011年。念願の荒川シルバー大学に入学することが出来たのです。希望していた教科にも入ることが出来、いつも変わらず真摯な授業をして下さる池田先生に感謝を申し上げ、私の心の拠り所である素晴らしい仲間にも恵まれ、授業日が待ち遠しいほど、悔いのない幸せな10年間の学生生活を送ることが出来ました。“学ぶことは前へ進むこと”をモットーとして、更に20年目を目指して、学び続けていきたいと思っています。



最後に、コロナ禍で多くの制限がある折柄、関係各位の皆様のご尽力により、心温まる令和2年度の閉講・卒業式が3月17日に举行されましたこと、厚く御礼申し上げます。お久しぶりに、原田先生のお元気なお姿に接することもでき、大変嬉しく思いました。

当日、私は奨励賞を頂きました。ありがとうございました。

(朗読教室 大塚 由紀子)

《《 生命の不思議に出会う旅 》》

元 自然と小さな旅教室助手 松本 タキ子

自然と小さな旅教室では、5年間お世話になりました。

この教室は、都内や近郊の自然を求め旅に出ます。昨年度はコロナの影響で十分な活動は出来ませんでした。そのような中でも都内の公園で、植物の生命の不思議に何度も出会うことができました。

いつも当たり前のように出来ていたことが出来なくなり、全く違った日常になってしまうことは、10年前にも体験しましたが、今回のコロナ禍の下ではいろいろと考えさせられました。シルバー大学の学生の皆さんは、いつも前向きで元気。学ぼうとするエネルギーにあふれています。学生の皆さんから、本当にたくさんのお話を教えていただきました。ありがとうございました。

旅の思い出はつきませんが、ただ景色を愛でるだけでなく、貴重なふれあいがたくさんあったことが一番の思い出です。

自然と小さな旅教室で学んだ、春夏秋冬の美しい日本の四季。その中にある二十四節気、七十二候の季節の移ろいを心に留めて、ゆったりとていねいに、これからの人生を生きていきたいと思っています。

シルバー大学の皆様のご健康と、ますますのご発展をお祈りしております。お世話になりました。ありがとうございました。

昨年3月5日に、4回の手術を終えて退院したものの、コロナで大変なことになっていてビックリ！それからの生活が一変し、ゴミ出しに行くにもマスクが必要で手放せなくなりました。

外に出かけることがなくなり、友人とのランチ会もお茶飲み会もなくなり、ちょっとした鬱になりそうでした。前の生活がいかに大事だったか思わずにはいられませんでした。人との関わりのなさがこのように心をむしばむとは！

長い長～い自粛生活にもやっとワクチン接種が話題になり、少し先が見えてきたように思うこの頃ですが、最近変異種がはやりだし、いつまで我慢すればいいのか分かりません。シルバー大学の勉強再開を心待ちにしております。

(読書・心の旅教室代表 市川 弘美)

- 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴 (担当 広報部・パソコン教室講師 望月利一)
- ・2021/04/19 年間予定表 日程変更 ・2021/05/1 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより
-

6月の行事中止について

18日(金) 第二回合同講義 中止 (新型コロナウイルス感染防止対策による)

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (5月) ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|-----|---|-----|-----------------|
| 11日 | 5/31までの緊急事態宣言による中止科目の会場使用取消書類作成提出 (センター・ふれあい館・ひろば館・町屋文化センター・サンパール荒川) 施設部長・事務局 | 14日 | 学校要覧 配付 (各教室にて) |
| 12日 | 常任理事会・役員会 (教室・地区) | 18日 | 広報委員会 |
| | | 21日 | 第一回合同講義 中止 |
| | | 26日 | シルバーだより 366号作成 |



※事務局だより※

1. 新型コロナウイルス緊急事態宣言 (5/31 期限) による中止教室について
歌唱・スポーツ・ダンス等の活動自粛により、シルバー大学もフラダンス・歌声・料理・輪踊り民舞・健康体操・気功・茶道教室の授業が中止となりました。
2. 冷房使用について
暑くなります。冷房使用の際は、こまめな温度設定を心がけましょう。終了後以下の項目を必ずご確認お願いいたします。
① 冷房のスイッチ ② 戸締り ③ 忘れ物 ④ ごみのチェックなど

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 367
令和3年7月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 「一生勉強 一生青春」 —

自分史・硬筆教室講師 野口 和歌子

相田みつをさんの数多い珠玉の名言の中で、大好きな名言に「一生感動一生青春」「一生勉強一生青春」があります。「感動する瑞々しい心は、まさに青春の源泉」と実感する体験は沢山ありますが、「一生勉強一生青春」には、お手本になる方がいらっしゃいました。自分史教室の後藤八重子さんです。「百歳でも50歳は若く感じる。後藤さんの人生は、百歳まで元気に勉強し続ける素晴らしい人生。絶対私も百歳まで勉強し続けよう、頑張ろう。」としてご尊敬していました。(本年4月ご逝去。衷心よりご冥福をお祈りしています。)後藤さんが、自分史教室に残して下さった言葉に、「歳をとっても何となく用があるが、月に2回の自分史教室へ行くのが楽しみである。若い人達の中に入って、私の知らないことも分かる。自分史は難しいと思う人が居るが、入ると楽しく話し合える教室。来てみて下さい。」この言葉には、他の人にも学ぶことの楽しさを知らせたい、一緒に学びたいという青春の心が溢れています。

私は、硬筆教室の講師もさせて頂いていますが、硬筆教室の皆さんの文字を書く集中力、熱心さからも青春を感じ取っています。向学心も盛んで、「先生、この漢字(『独活』)読めますか?」「読めません。」「ウド、ですよ。他にもこういう読み方の漢字があれば知りたいので沢山教えて下さい。」この質問の方は90歳の時、「美しい文字が書きたい。」との決意も新たに入室され、4年間で全ての文字を、お手本があればその通りに書写できるまでに上達され、美しい文字を書かれています。スゴイ。「丑年の丑の字の筆順はなんですか?」「何で『は』を『わ』と読むのですか?」等々。硬筆教室では、現職の中学校教師時代にもなかった瑞々しい質問の数々。私は皆さんの向学心に追い付くのがやっとです。答えられない質問は、皆私の宿題になっています。



3月25日に、福島の「J ヴィレッジ」から国内の聖火リレーがスタートしました。「支援して下さった世界中の方々に元気な姿を見せて恩返ししたい。」「『どんな困難も乗り越えられる』、聖火を希望の灯として輝かせます。」とのランナーの声が新聞で紹介されていましたが、「学ぶこと・勉強すること」は、「若々しい人生の希望の光」そのものと思っています。

皆さん、これからもシルバー大学で、ずっと一緒に勉強し続けましょうね。

《《 誰かの“あなた”になれたら 》》

シルバー大学に入ってから20年は、いつも前を見ていたようで短く感じました。あらためて振り返ってみますと、“楽しい”の一言です。楽しい思いの中には、先生・仲間・友達があります。皆で話し見聞すると、楽しさが二倍にも三倍にもなりました。そして、その時々色々な“あなた”のおかげで、励まされ、ほめられ、なにげない言葉に後押しされ、今、学びを続けています。

これからの学校生活で、誰かの“あなた”になれたら幸せだと思っています。

(東日暮里地区長 尾島 ゆう子)



《《 シルバー大学在学5年を過ぎて 》》

私は、3月16日の閉講・卒業式に列席させていただきました。シルバー大学で「もう5年」「すでに5年」とも思いますが、経過の速さに驚きます。今年は東日本大震災から10年。「もう10年」「まだ10年」と、思いが募る年となりました。

5年前に、シルバー大学のチラシを見て、たまたま始めたいと考えていた「俳句教室」があったので申し込みました。その翌年の申し込みの時に、家内が、息子の恩師の望月公子先生(現シルバー大学学長代行)の講座があることを発見し、「今と昔の町歩き教室」に参加することにしました。

「俳句教室」では、教室での句会と共に吟行会で自然に親しみながら作句する楽しみがあり、継続させていただいています。

「今と昔の町歩き教室」は、講師が加藤純成先生・助手山下静子先生の「今と昔の歴史散歩教室」に変わりましたが、継続して受講しています。「町歩き」も「歴史散歩」も行ってみたいと考えていても、自身では行かず仕舞いになる所に行くことが出来るので、嬉しく参加しています。

「町歩き」では、佐倉の歴史民俗博物館、八ヶ岳白駒池、東京証券取引所、迎賓館などが記憶に残りました。

「歴史散歩」では、第五福竜丸、海上保安資料館、杉山城址、保渡田古墳群、水陸両用バス、秩父棕神社、八王子城跡、日野宿本陣、熊野神社、大國魂神社などが記憶に残っています。個人旅行で堺の百舌鳥古墳群に行った時に、古墳での見学が参考になり、興味深く眺めました。

また、荒川区の歴史にも触れることが出来、望月先生のご尽力による、尾久の八幡堀音無川。更に、南千住のコツ通り、素盞雄神社天王祭宮入、回向院、延命寺地藏尊など、初めて知った事柄が多く驚きました。

コロナ禍が続く今、十分な活動も出来ず残念ですが、忍従の時と心得、活動全開の時期を待ちたいと存じます。

(今と昔の歴史散歩教室代表 安部 洋一)



《《 何のために自分史を書くのか 》》

私は迷った。私には誰にも残す人がいない。甥がいるだけで、私の過去を書いても仕方がないのかと思う。それでも、私は、自分史の1ページでも書いてみたいと思う。

私は、昭和9年1月14日、東京の荒川区に生まれました。家は炭屋を営んでいて、親子7人の生活をしていました。私は末っ子で、朝から晩まで楽しく暮らしていました。

昭和15年に小学校に入学、児童数が多かったので、8学級もありました。やがて、5年生になり、戦争が激しくなり、疎開の話が出てきました。私達は、親と離れて暮らしたことがありません。半分、遠足ぐらいにしか思っていませんでしたので、疎開の話には、嬉しかったり、楽しかったりしました。そのうちに家に帰れないと分かると、淋しくて泣いたりしていました。親は大変だったと思います。



昭和19年8月に福島に出発しました。尾久駅より汽車に乗り、郡山で乗り換えました。小野新町へ向かって汽車が動き出すと、あっちでもこっちでも、皆すすり泣きして、汽車の中は大変な騒ぎでした。向こうに着いたら、お迎えの人達でいっぱい。大勢の人達が出迎えてくれました。

私の疎開先は、西田屋支店という旅館でした。約50人位の児童と、寮母さん2人、そして先生1人が一緒でした。

寝る時は、布団が隙間なく敷かれて、足を踏んだりして大変でした。洗濯は近くの川で洗って、学校は町の小学校に通いました。お風呂は、旅館のお風呂を使って、それこそ芋洗い状態でした。たまに、しぶ湯に連れて行ってくれました。福島は寒いので、冬は手拭いが凍ってしまい、旅館に戻ってくる迄には、棒のようになっていました。

2か月おき位に、両親が逢いに来てくれました。その時は、涙、涙で大変でした。姉も3人おり、年もそんなにっていないのに、よく私に逢いに来てくれたなど、有難く思っています。あの頃は切符が買えなくて、並んで買ったので、皆に苦勞させてしまったと思うとともに、姉達のやさしさに感謝しています。



やがて、戦争も終わり、昭和20年11月に、荒川に帰って参りました。バラック小屋がたくさん建っていましたが、1軒の借家に親子7人で住むことができました。「両親に感謝」の気持ちでいっぱいです。

(元 自分史教室 瀧澤 百合子)

7月の行事について

7月の行事につきましては、7月1日（木）の三役・部長会における話し合いの結果、内容を講師及び学生各々へ連絡網によりご連絡申し上げます。

7月・8月・9月はセンター三階会議室及び尾久ふれあい館がワクチン接種会場となるため、使用予定の教室はすべて会場が変更となります。代替え会場が決まり次第、各講師及び教室代表者へご連絡申し上げます。

○7月の新規予定について

- ・1日（木） 三役・部長会 午後1時～ シルバー事務所
- ・7日（水） 常任理事会 午後0時30分～ 一階 第一会議室
- 講師会 午後1時40分～3時 一階 第一会議室

※教室代表者会と地区班長会は会場の都合により中止となります。

※13日に予定されていた講師会は7日に変更となります。

❀ 8月の「シルバーだより」はお休みとさせていただきます ❀

●荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

- 6/19 英語 6/3 ご挨拶・お知らせ シルバーだより 6/2 読書・心の旅
- 5/29 英語 5/26 パステル・絵の具

◆◆◆ 学 園 日 誌 （6月） ◆◆◆

- | | |
|--|--|
| 2日 常任理事会・役員会
令和2年度決算報告
令和3年度予算報告
監査報告 | 15日 広報委員会
18日 合同講義 中止
29日 シルバーだより 367号作成 |
|--|--|

※事務局だより※

1. コロナ禍の中で

2回目のワクチン接種もすでに済んだ方が増えつつあります。未来は誰も予測できないのですが、100年に一度の疫病が現実となったこの一年半でした。「戦争よりはましよ」との戦争体験者の学生の生の声も聞かれました。新型コロナウイルスがもたらした時代の後先を、この目でしっかり見届けたいと思う昨今です。大きな時代の変化の真っ只中にいる私達です。

2. QRコードについて

QRコードは荒川シルバー大学ホームページです。
スマートフォンでご覧になれます。



◆事務所夏季休暇：8月10日（火）～20日（金）

TEL3801-5740 FAX3801-5691 室長・田原

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>



シルバーだより

No. 368
令和3年9月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— コロナ禍の「歴史散歩教室」とは? —

今と昔の歴史散歩教室講師 加藤 純成

7月12日から4度目のコロナ緊急事態宣言が出された。そうすると、外に出かける「歴史散歩」としては、いろいろと気をつけなければならない。何しろ「不要不急の外出」を控えるように・・・と言われるのだから。しかし我々のやっていることは、決して不要不急のものでは無い。必要なものだ・・・それでも、コロナ対策はしなければならない。

- ・バスに乗って、道の駅に立ち寄りながら、みんなで楽しく1日お出かけ・・・
- ・電車で少し遠出をして、博物館や資料館を見学する・・・

これらが、できない。我々に求められるのは、「近い・短い・外で」だ。そうすると、我々に残されたものは、「お墓」「お寺・神社」「外にある物」しかない・・・



そこで、6月25日は「築地本願寺・かちどき橋」、7月16日は、「雑司が谷霊園・宣教師館」へと出かけました。雑司ヶ谷霊園には、「大川橋蔵・夏目漱石・小泉八雲」など有名人のお墓がありました。

日本で初めての女医さん「荻野吟子さん」のお墓には立派な白い像が立っていました

(写真)。美人さんでした。・・・ちょうどその日は梅雨明けの暑い日、学生のみなさんはマスクをし、ワクチンの接種に心がけ、副反応に悩まされながらも参加していただきました。

次回の9月17日は、「雑司ヶ谷鬼子母神・大鳥神社」を予定しています。

また教室では「四方山話」を始めました。「ふるさと」をテーマに、8月27日には東北宮城の「南三陸町・戸倉小学校の3・11」のお話をします。サンパール小会議室で、「川嶋あい」の「旅立ちの日に」を聞きながら・・・

伸びる一方の感染者グラフですが、新型コロナといえども、我々の学びたい気持ち・さらなる好奇心を抑えることはできないのです。



(ユリとヒマワリも応援していました)

《《 さよならの数だけ愛・感謝が蘇える その③ 》》

— 愛と感謝をこめて —

原田名誉学長から故後藤八重子様へのお手紙です

名誉学長 原田 治子

後藤八重子様、大変お疲れさまでした。4月8日零時55分に旅立ちをして、黄泉の国までは、長い長い道だったでしょう。シルバー大学の旅行とは違って数十日はかかったと思います。多分5月27日か28日に到着したのではと思っています。

左腕の骨折は癒え、肺も心臓も苦しくなくなり、すっかり若返って、スタスタと足早に歩いている後藤さんを心に描きながら、「ごくろうさま」と声かけをしてきました。

初代理事長 水越清次さん、二代理事長の秋山照子さん、自分史教室の山崎勝義さん、シルバー大学の運営記録をしっかり遺していった宮沢健一さん、その他多くの方々が、後藤さんを大よろこびで迎えたことでしょう。



シルバー大学の分校は、ずいぶん大きくなっているでしょうね。

こんこんと水面にあふれる湧水、おいしいでしょうね。絶えることのない一面の花畑、小川のやさしいせせらぎ。そこにシルバー大学分校の校舎が純白の大きな大きな姿で建っている。そして、みなさんの居所であり学舎にもなっているのでしょう。もう帰宅することはない。みんな常に一緒にいられる楽園。そこで後藤さんは書道の講師ですか。ぎっしり詰まっている後藤さんの知恵袋は、学校運営にとっても役立つでしょうね。



平成5年4月、自分史教室が開設。この時に出会った後藤さん。ものすごく美人で、頭脳明晰で、優しく、短気で、心にあることは、ばんばん言って…。思い出は尽きません。おいしいお酒を度々飲みましたね。お宅に行って、手料理を様々ご馳走にもなりました。それだけではありません。私の心の支えとなって、どれほど救われていたことか。

感謝・感謝です。ありがとうございました。

お別れしたのではありません。シルバー大学分校で、第二の人生を満喫している後藤さん。そこから時々声かけをして下さいね。「クヨクヨして落ち込まないこと。前を向け」などとね。私も天空にむかって大声で応えます。

(令和3年6月17日)

後藤八重子さんは、昭和60年度に荒川シルバー大学に入学して、36年間学ばれ、令和2年度の閉講式には、100歳の方へ授与される長寿賞を受賞されました。令和3年4月8日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◎平成 25 年に作成されました『昭和の記録』より 2 編掲載致します。

《《 戦争と平和 》》

思い返せば今から 65 年前、田舎育ちの私は、まだ小さかったのですが、防空壕の中で東京が真っ赤に燃える炎が今でも目に焼き付いています。

私の田舎は埼玉県です。利根川と烏川、群馬県と埼玉県の境。忘れもしない、利根川の河原に爆弾が落ち、ガラスが割れんばかりの音で、もうだめかと思う恐怖を感じました。河原でタバコを吸っていた男性がいたそうです。それは、本当かどうか分からなかったけれど、戦争ほど悲惨なものはない。

学校帰りの途中、飛行機の音がするとみんなで麦畑に逃げ込みました。その当時、カバンを背負い自分で作ったゾーリをはいて通った思い出が、昨日のように感じます。

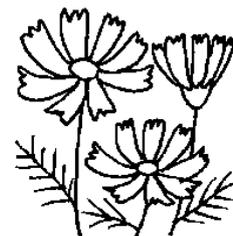
田舎に東京から疎開する方も多く、友達になり東京の話をよく聞かされたものです。

戦争ほど怖いものはない、二度と起こしてはならない。江戸川東京大空襲記念館を、6 年前に見に行き、戦争の怖さ、東京が火の海で隅田川に飛び込んで死んでゆく人の姿を目の当たりに見た気がしました。

現代に生まれてきて本当に良かったなあ…。

今は幸せです、平和であってほしいと願うしかありません。

(平成 22 年 9 月 記 35 班班長 布川 春江)



《《 水筒のキャップ一杯の水 》》

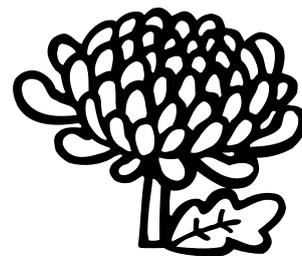
今の日本では、どこのお店に入っても、「いらっしゃいませ」と言って、コップになみなみと冷たい水を出してくれます。思えば今から 60 数年前、大陸よりの引揚者として、日本に向かいました。母は大変な苦勞をしたと思います。

運良く帰国船に乗ることができ、佐世保港に着きましたが、船内でチフスが発生し、1 か月近く下船許可が下りず、食料、水が不足し、私は、夜中に喉が渇き我慢できず、わーわーと騒いだようです。

近くで見ていたおばあさんが見かねて、私に水筒を開けてくれてキャップ一杯の水が届きました。

今でも忘れることができません。「美味しい水とおばあさんの顔」は。この出来事は、ついこの間のことです。

(平成 22 年 9 月 記 荒川地区長 山田 紀子)



9月の行事について

期日	行 事	講師プロフィール
30日 (木)	<u>第三回合同講義</u> 篠の音～大野利加横笛演奏会	大野 利可 国立音大卒：篠笛・能管の尽きない 古典の奥深さを探求。オリジナル曲 の創作も追及中。友笛会代表。
時間：午後2時より 会場：サンパール荒川 3F 小ホール		

○生涯学習センター三階は、新型コロナウイルスワクチン接種会場として10月末日まで延長されました。(三階使用教室は引き続き他会場に移動となります)

○9月1日(水)の常任理事会・役員会の開催時間帯について

午後0時半～1時半：常任理事会、午後1時40分～2時40分：教室代表者会

午後2時50分～3時50分：地区班長会 会場：センター 四階 音楽室

※ 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

8/23 パソコン・英語 8/2 読書心の旅・パソコン 7/25 今と昔の歴史散歩 7/23 社会科

見学 7/8 読書心の旅・パソコン 7/2 今と昔の歴史散歩・社会科見学・パソコン

7/1 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより

以上

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (7・8月) ◆◆◆◆◆

7月1日 三役・部長会

7日 常任理事会・講師会

26日 陶芸教室 令和4年度
日程表作成(教室清掃依頼)

31日 ◆社協福祉団体運営助成に
伴う書類作成

8月23日 会場変更による日程表作成

24日 広報委員会

25日 ◆学園祭共催依頼書作成

◆学園祭区報掲載依頼書作成

27日 シルバーだより 368号作成

※事務局だより※

1. 令和3年度学園祭について：期日11月12日(金)～14日(日)に開催予定の学園祭は、新型コロナウイルス感染予防のため、密にならないように入場者人数制限他様々に工夫しての開催となる予定です。

2. 感染症予防を行いながら、熱中症対策も：暑さはまだ続きます。換気しつつこまめにエアコンで温度調節を。また消毒・体温測定など健康管理チェックをしっかりとってお過ごしてください。



(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691 室長：田原



シルバーだより

No. 369
令和3年10月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 本に出会う —

音楽教室講師 飯島 純子

コロナ禍で世の中は変わり、人はマスクで顔を隠し、心まで塞ぎがちな日が続いています。そんな中、趣味に没頭したり、好きなことに時間を使うことができれば、気分転換になり、ストレスも少し和らぐことでしょう。まさにシルバー大学の皆様がそうでしょうか。

私は退職後、時間にゆとりができたので、やれるようになったことがいくつかあります。そのひとつが読書です。仕事をしている間は、本を読む暇はあまりありませんでした。今は、行き当たりバッタリに本を選び、興味の赴くままに読んでいます。ですから、どんな本といつ出会うかがとても楽しみなのです。

数年前こんなことがありました。「ゆいの森あらかわ」を訪れた際、入り口を入り正面の書架に山田風太郎「エドの舞踏会」がありました。タイトルは知っていたので、手にとった時読んでみたくなり借りてきました。鹿鳴館を華やかに彩った明治の元勳とその夫人達にまつわる物語で、とても面白かったのです。この中で興味をかき立てられた部分がありました。それは、大正から昭和にかけて二枚目歌舞伎俳優として名をはせた、15代市村羽左衛門(うざえもん)のことです。彼の出生の秘密(日米の混血?)についてふれていて、以前母から聞いた話を思い出し驚きました。



そして、詳しくは里見弴(さとみとん)の「羽左衛門伝説」に出ているとあったので、早速読んでみたいと思いました。図書館で検索してもらったところ、大分昔の本で、どこにも無さそうだと分かると、尚手に入れたいと思いました。そこで、アマゾンに頼み、数日して、何と愛知県古書店から送られてきた「羽左衛門伝説」を手にすることができました。昭和30年発行の本なので紙の質はよくありませんが、その装丁の素晴らしいこと。ハードカバーの全面に羽左衛門らしき歌舞伎の絵姿が描かれていて、「今時こんな本は無いな」と感動しつつ読み進めました。今大事に本棚にしまってあります。

一冊の本を読んだことから、また別の本とめぐり会うことができた嬉しい経験でした。

コロナ禍でも、脳が活性化するよう本を読んで、これからも知らない世界への扉を開けていきたいと思います。

《《 ゴッホの自画像 》》

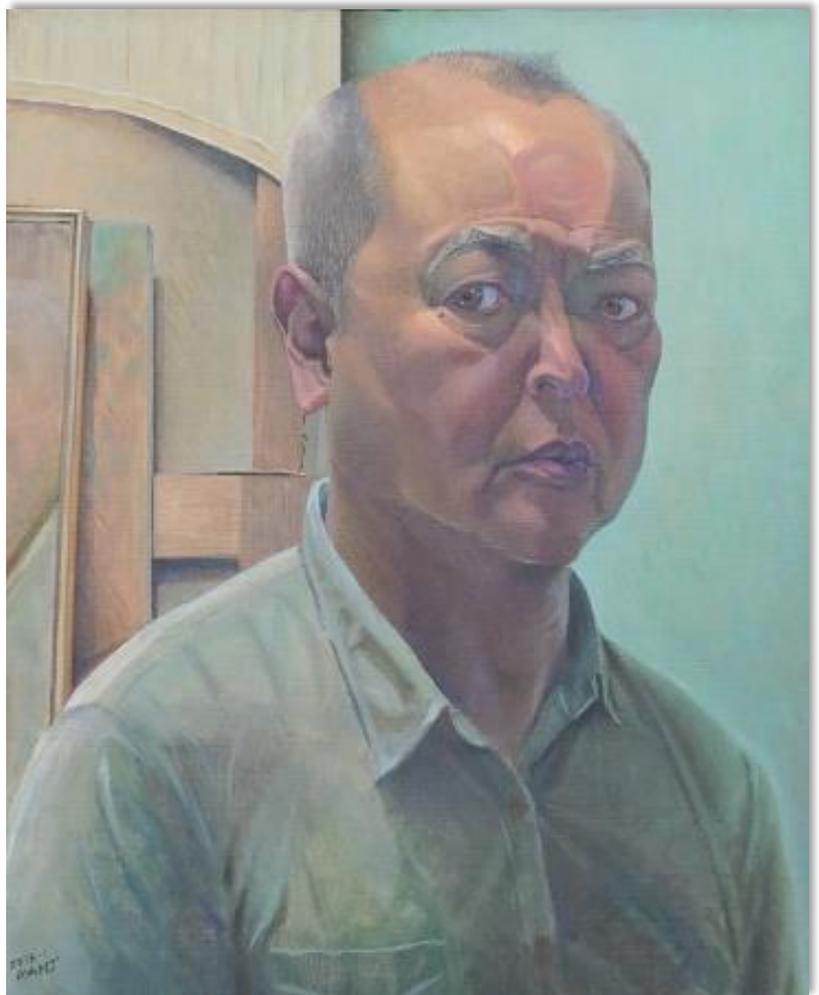
パステル・絵の具画教室講師 永井 克巳

ゴッホは、晩年まで自画像を描き続けてきた。その枚数は、油彩画だけでも40枚を超えるという。私が一番好きなゴッホの自画像は、「包帯をしてパイプをくわえた自画像」である。この作品は、ゴッホが、パリからアルルの「黄色い家」に移住し、ゴーギャンとの共同生活をしていた頃の作品だ。ゴッホが『耳きり事件』を起こした1ヶ月後に描いた作品と伝えられている。眼光は鋭く、躍動するような筆のタッチが、強烈な印象をあたえる。

ゴッホは、画業10年程の短い期間に、なぜ40枚もの自画像を描き続けたのだろうか。ある美術雑誌に「モチーフが自分自身なのでモデルがいらない。鏡があればいつでも描ける。つまり、人物画を描くための習作として自画像を描き続けたのであろう」とあった。だが、自画像は、肖像画・人物画とは異なる。たとえそのような理由であっても、作品からは安易な姿勢は、全く感じない。そこがゴッホの凄いところなのだ。

「包帯をしてパイプをくわえた自画像」を見ると、パイプの煙がユラユラ動いているように見える。耳を切り落とした不安定な心境が伝わってくる。ゴッホの当時の息づかいや鼓動までが伝わってくる。ゴッホの自画像は、何回見ても何時間見ても飽きない。凄いと思う。

私も自画像は、年に1枚は描いている。ゴッホと比較すると1割にも満たないが、描いている時は、気持ちが高揚して緊張する。年々、頭髪は薄くなり、白髪やシワが増えて老いを感じるが、眼光は鋭く輝き、若い時と変わらない。体力は衰えても気力は十分にあることが、自画像を描くと解るのだ。シルバー大学の「パステル・絵の具画」講座でも、自画像や人体クロッキーを描いているが、その時の学生さんの真剣な眼差しは、鋭く輝き、衰えを感じない。自画像を描くことは、自分自身を見極める特別な行為なのだ。私もゴッホのように、生涯、自画像を描き続けていきたいと思っている。



永井講師自画像

《《 「読書・心の旅」教室に参加して 》》

近年、「読書ばなれ」「活字ばなれ」が指摘されています。私もその一人です。要因は様々あるが、私の場合は、「老眼が進んで目が疲れる」が、一番の理由でした。また、理解力、記憶力、集中力が低下し、続けて本を読む忍耐力がなくなってしまうことも原因です。

私は、元々は読書が趣味で、空き時間にはいつも本を読んでおりました。しかし、現在は加齢を理由に本から久しく遠のいてしまいました。先頃、米国の医学誌が、1日30分以上読書をすれば、死亡リスクが20%減少する。また、読書習慣がある人は、ない人よりも約2年寿命が長い、との調査報告が発表されたと、ネットの記事に掲載されました。



読書がもたらす様々の効果やメリットは十分承知していますが、長生きにつながるとは思いませんでした。科学者の考えによれば、読書が加齢による認知力の低下を食い止め、認知機能を守ると表明しています。

今年度「読書・心の旅」教室の受講は、まさしくこれから先の私の健康に恩恵をもたらす講座になると確信しました。この講座に参加し、再び本と触れ合う機会ができ、読書を通し「脳健康」を増進し、皆さんと語り合う中で「心の世界」を広げ、豊かな幸せな時間を過ごしたいと思います。

(読書・心の旅教室 北潟 園枝)

《《 スポーツ安全保険について 》》

福利厚生部長 堀内 邦雄

学生・講師・助手・事務局員全員保険の「スポーツ安全保険」は、設置3年目となりました。フラダンス・健康体操・気功教室がスポーツとして見做されていますが、シルバー大学では、年間5件程度の事故が発生しており、今までは主に登下校歩行時と自転車の転落事故となっています。

登下校の往復中や、授業中、教室の外部での行事や旅行などでのケガなど、団体・グループでの活動中の「傷害」や対人・対物の「賠償責任保険」などを補償しています。

死亡・後遺障害と傷害保険金が最低1日目から30日間限度の通院、入院は180日限度で支払われます。

加入区分のB型(上記3教室)以外では、通院1日に付き1500円、入院1日に付き4000円が支払われます。傷害事故以外では、シルバー大学活動中に熱中症やウイルス性食中毒も事故として補償されます。

シルバー大学活動中に、身体的に何か異常がありましたら、「教室代表」を経由して「福利厚生部」の部員へ状況をご連絡下さい。



☆俳句教室作品より・・・初秋の句より☆

たまゆらに方丈記など秋燈 京
古木戸や老の二人の秋灯し 謡
重陽や残照淡き富士の嶺 智
オリパラの炎消えゆき秋燈 みつえ



10月の予定について

○10月のコロナワクチン接種会場について

生涯学習センター三階は、新型コロナウイルスワクチン接種会場として11月末日まで延長されました。三階使用教室の皆様は、ご協力会場にての受講となります。よろしくお願い申し上げます。

○10月役員会の開催日時について

常任理事会：10月6日（水）午後0時30分～1時30分

教室代表者会：10月6日（水）午後1時30分～3時 会場：四階・音楽室

※ 荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

9/24 パソコン・9/21 今と昔の歴史散歩・読書心の旅・9/16 社会科見学・合同講義プログラム 9/2 ご挨拶・お知らせ・シルバー便り 8/23 パソコン・英語

◆◆◆◆◆ 学園日誌（9月） ◆◆◆◆◆

1日	常任理事会・役員会	29日	シルバーだより 369号作成
17日	学園祭打合せ（ムブ町屋にて）	30日	合同講義
28日	広報委員会		

※事務局だより※

① ふれあい館・ひろば館・各施設利用についての点検票提出等について

1. 利用者全員が発熱していないことを確認し、「検温済」欄にチェック
2. 退室時、点検が終わりましたら「貸室点検表」の提出
3. 退室時、「貸室利用者名簿」の提出（コロナウィルス感染者発生時対策）

② 11月の公開教室のお知らせ

11月は各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考になさってください。密にならないよう入場人数に制限を設ける場合がありますので、事前に事務所へお問い合わせください。



事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691 室長：田原
(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>



シルバーだより

No. 370
令和3年11月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 植物にも五感がそなわっている —

自然と小さな旅教室講師 やない 箭内 忠義

「自然と小さな旅」教室では、バスを使っての小さな旅と共に、公園、庭園などで植物観察を楽しんでいます。植物は、挿し木、接ぎ木でどんどん仲間を増やしますし、芝などは何度も何度も刈られますが、次から次へと伸びてきます。生命力が素晴らしいです。

そんな植物には人間と同じように、視覚、臭覚、味覚、触覚、聴覚の五感がそなわっているのです。

まず視覚、植物は光を取り込み利用しています。光合成。そして、光の方向に向かって成長していく屈光性が知られています。根は反対に暗闇に向かって伸びていきます。目を持たないのに光を感じています。



次に臭覚、花は様々な匂いを出し、虫を誘います。甘い香り、臭い香りなど、匂いの種類により呼び寄せられる虫が違います。花は虫を呼び寄せ受粉し、種を作り、子孫を残すのです。また、植物は葉を他の生き物に食べられると毒素を作り出します。同時に周りの仲間にも匂いにより危険を知らせます。キリンは木の葉を食べますが、一本の木の葉を食べると、次はその木からちょっと離れた木の葉を食べに移動します。すぐ近くの木は、仲間の木から送られてきた匂いにより、食べられないように毒素を作り出しているからです。仲間からの匂いをキャッチしているのです。

三番目は味覚です。植物は栄養素として使われる化学物質を探す感覚・味覚があります。硝酸塩、カリウムなど主に根がかぎ分けて吸収しています。

四番目は触覚です。これはオジギソウなどで分かります。水でぬれても閉じないのに、手を触れると閉じますね。食虫植物は虫が花に入り込むと花弁を閉じます。根は、障害物に触れると回避していきます。

最後は聴覚です。振動をとらえる機械受容チャンネルを持っているそうです。音楽を聞かせたブドウは生育が良くなり、害虫駆除の効果があったそうです。

その他にも、湿度を測定し、水源を感知する力、また、重力を感知する力もあると知られています。

切り倒された木が長い間生きていました。不思議に思い調べたら、仲間の木が根から栄養を送り届けていたといいます。木は助け合っていたのです。その話を読んで、本当に驚きました。植物は素晴らしい。これからも、「自然と小さな旅」教室で学んでいきたいと思っています。

《《 篠の音 大野利可横笛演奏会 》》

開会の挨拶 岡田理事長

今日の開催は久しぶりであり素晴らしいことでもあります。余談ではありますが、明日10月1日は都民の日で、公共の場所は無料でした。明治31年に東京市となりました。昭和18年に府と市が合併して都となり、昭和27年10月1日に都民の日となりました。昭和22年3月、東京都の歌が出来ました。

今日は、発声は出来ませんが、心の中で歌ってストレス解消に役立てて欲しいと思います。

【大野利可先生のプロフィール】 音楽教室 飯島純子先生より

国立音楽大学でフルートを専攻されたが、洋楽から古典に変わられたのは、お師匠さんが良かったからだそうです。世界中に篠笛と能管を広める活動をされているそうです。

第一部 「トンビ～浜千鳥」 梁田貞～弘田龍太郎作曲 大野利可編曲

篠の音は鳥の声を連想させる。

大野先生より横笛についてのお話

大きく分けて三種類 (篠笛・能管・龍笛)

龍笛…雅楽に使用 竹で出来ているが、中に一本もう一つ竹が入っていて、音が出にくくなっている。

能管…能楽に使用 同じく竹で出来ているが金属も使用している。平家物語等。

篠笛…竹の一節からできている。民話の伴奏として使われる。青葉の笛等。

「荒城の月～月の野」 滝廉太郎～大野利可作曲

「青葉の笛」 田村寅蔵作曲 鯉沼廣行編曲

平敦盛を歌った小学唱歌を篠笛独奏用に編曲したもの。

笛を吹きながら、壇上から客席に降りて退場する。

第二部 客席から入場し、笛吹童子幻想曲(福田蘭童作曲 鯉沼廣行編曲)を吹きながら壇上へ。

「三冬(みふゆ)」 大野利可作曲 陰暦の10月～12月を指す。

「雪～月の舞」 大野利可作曲 能管独奏によるオリジナル曲。

最後に「赤とんぼ～夕焼け小焼け」

夕焼け小焼けは、荒川区に縁のある中村雨紅作詞。

木村学長より謝辞

今日はありがとうございました。朝早くから打ち合わせやリハーサルをし、万全に用意して頂き、懐かしい曲に出会い、篠笛の心に沁みる音に感動致しました。コロナで合同講義が2回流れてしまい、今日は行えて良かったです。

(記録 広報部 市川 弘美)

次ページに9月30日当日の演奏会の写真を掲載しました。



岡田理事長のあいさつ



紹介を受ける大野利可先生



演奏の様子



壇上から降り、退場



演奏の様子



木村学長の挨拶

※ 下の QR コードを読み込むと、スマートフォン等で楽曲を視聴できます。

1. とんび～浜千鳥

2. 能管の曲

3. 青葉の笛

4. 月のうさぎ



5. 荒城の月～月の夜

6. 笛吹童子幻想曲

7. 三冬・雪・月の舞

8. 赤とんぼ・夕焼け
小焼け



11月の行事

学 園 祭

12日（金）	展示：13時30分～17時
13日（土）	展示：9時30分～17時
14日（日）	展示：9時30分～15時

会場入館の人数制限があるため、鑑賞日時の指定があります。



日暮里（東・西）	12（金）	13：30～16：30
南千住	13（土）	9：30～12：30
荒川	13（土）	13：00～16：00
町屋	14（日）	9：30～12：30
近郊	14（日）	9：30～12：30
尾久（東・西）	14（日）	12：00～15：00

会場：ムーブ町屋 3・4階

11月の予定について

- ◆新型コロナワクチン接種会場の件：尾久ふれあい館・レクホールは使用可能となりました。調理実習室については、使用再開の時期が発表されておりません。生涯学習センター・三階については、11月も引き続き接種会場となります。四階・音楽室は、合唱等での使用可能人数は48名となります。

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

10/22 社会科見学 10/18 今と昔の歴史散歩 10/10 合同講義視聴ページ
10/3 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより

教室公開のお知らせ

11月は、各教室を公開授業として見学できます。令和4年度の申込の参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務局にお問い合わせの上、ご見学ください。 連絡先 ☎3801-5740

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10月) ◆◆◆◆

6日 常任理事会・役員会 19日 広報委員会
14日 学園祭企画会議（ムーブ町屋） 29日 シルバーだより 370号作成

※事務局だより※

1.荒川区功労者表彰について

この度、尾島ゆう子さん、飯島純子先生（音楽教室講師）が「社会教育功労賞」を受賞することになりました。新型コロナウイルス感染防止により、例年の大会場での授賞式は中止とのこと、センター内での表彰となります。永年の労に心より感謝申し上げます。おめでとうございます。



（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

（メールアドレス） arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp 室長・田原





シルバーだより

No. 371

令和3年12月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 感情の老化を防ぐには —

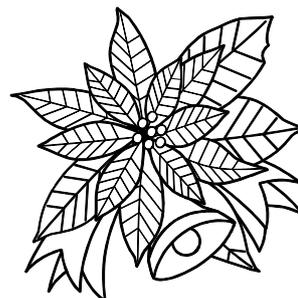
頭の体操教室講師・広報部長 水越 絹代

『感情の老化』とは何か。それは、脳の前頭葉という部分が萎縮をすることで、「意欲」「自発性」「好奇心」などの気力・感情が低下し、普段の生活や人生を楽しめなくなってしまうことを言います。

皆さんも、「もう年だし、こんなもんだ」「めんどくさい」「もうこれ以上賢くならなくてもいい」などと思うことはありませんか。そのまま、体を動かさなくなったり、頭を働かせなくなると、本当に老けこんでしまいます。

では、これを防ぐには、どうすればいいのでしょうか。

大正2年生まれで、今年の3月に107歳で永眠なされた、美術家でエッセイストの篠田桃紅(とうこう)さんの『これでおしまい』という本の中に、ヒントとなるこんな言葉があります。「人間には、何かを面白がる精神がある。人生を面白くするか、幅広く楽しめるかは、その人次第よ。人間の持つ想像力を使えば退屈しない」「私幾つになっても色んなことを発見しているんですよ。だから飽きないでやっているのよ」と。桃紅さんの生き方は、感情の老化を防ぐための参考になります。



まずは、あれをしたい、とか、これが欲しいという『欲』を保ち続けることが、感情の老化と闘っていくためには、大事なことです。そして、「年甲斐もなく恥ずかしい」などと言って、自分を押し込まずに、好きなことに夢中になり、感情を若返らせるのです。楽しめることは、楽しめる限り続けていく。楽しむことは、感情の老化を防ぎますし、免疫機能も高めますから、一石二鳥ですね。このような感情の老化を防ぐ生き方は、シルバー大学の学生さんであれば、もうすでに実践されていることと思われまますので、できる限りそれを続けていきましょう。

さて、11月に開催されました「荒川シルバー大学学園祭」。2年ぶりの学園祭の作品を鑑賞なさせて、皆さんには、何か新しい発見や驚き、感動はありましたか。それによって「よし、また1年頑張ろう」という気持ちが生まれたなら、コロナ禍の色々な制約がある中で開催された学園祭には、十分に意義があったということでしょう。

楽しめることを続けて、感情を老化させずに若返らせ、来年の学園祭に向けて、今から一歩ずつ歩んで参りましょう。

《 11月12・13・14日に開催されました学園祭の様子を
写真でお伝えします 》





投稿

《 気功 20 年 》

私と気功教室の出会いは、長い専業主婦の生活から解放されて自分の時間が持てるようになり、健康を考えなければいけない年齢になった頃です。

ゆっくりとした動きで、呼吸法を教えて頂ける教室を探してありましたところ、お友達が、『荒川シルバー大学の入学案内』を持ってきて下さいました。23 教科の中から気功教室を見つけて大変嬉しく思い、入学させて頂きました。

気功の仲里会長先生や原先生と、大変嬉しい良いご縁を頂きました。お教室レッスンのカリキュラムを先生が作って下さいます。香功、医療気功内養功、気功の三原則、経絡と経穴、陰陽五行説概論、気功実技。こんなに難しいこと私に出来るのかしらと思いましたが、原先生が「無理をしないこと、楽しく出来る範囲で」と、優しいきれいなお声でご指導下さいました。仲里会長先生、原先生のご指導のもとに、20 年になりました。とっても嬉しいことです。緊張を取り除き、リラックス出来て、神経系統のバランスがすこぶる良好になりました。

気が弱くて、人前では緊張しがちで、いつも後ろにばかりいた私に、「もっと前に出られる本橋さんよ」と言って、背中を押して頂きました。今は、人前も自信が持っています。原先生と気功のおかげです。香功、内養功の練功の後には本当に至福の時です。今では、私の中にしっかりと根を下ろして生活の一部になっています。気功で健康づくり。

これから本格的な寒さに向かいます。皆様どうぞご自愛下さい。

(気功教室 本橋 華子)

令和4年度の募集について

コロナ対策の三密を避けるため、来年度の募集は1月中に全教室で事前募集を実施致します。以下の変更項目に注意してお申し込み下さい。

- 新設教室「ヨガ教室」(水)は午前10時からになります。講師 丸～
全米ヨガアライアンス RYT200 取得。龍村式ヨガ講師資格取得。ホリスティックヘルスコンサルタント1級他取得。ヨガは哲学です。どなたでも、年齢に関係なく、ご自身のココロとカラダを健やかに豊かになれるよう、一緒に学んでいきましょう。
- 書道・金曜教室(金)は講師が代わります。講師 吉見 松香
基本的な筆使いを学び、美しい文字が書けるコツを教えます。墨と筆がかもし出す線の美しさを鑑賞し、自己表現に生かしていきます。自分の書きたい言葉を創作表現し、書の楽しさを味わってもらいます。
- 料理教室(水)は時間帯が午前10時からになります。講師 山崎眞生子
今日の献立は何にしたらいいのか、スーパーをうろうろしながら考える毎日、自分の好きな食べ物を選んでいませんか。季節の食材でバランスのとれた美味しく簡単な料理を、皆さんで調理をして食べる大切さを考えながら健康寿命を延ばしてみませんか。
- 何でも教室(月)は令和3年度で終了となります。

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

11/25 おしゃれニット・11/23 陶芸・11/20 俳句・11/19 社会科見学・11/8 パステル絵の具画・11/1 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより・10/26 読書心の旅

◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆

8日	令和4年度年間講義日程 センターへ申請	24日	区報掲載申込書作成 会員募集…1/21 掲載予定
9日	令和4年度ふれあい館・ひろば 館 年間講義日程 区へ申請	25日	広報委員会
10日	常任理事会・役員会	26日	企画委員会
10日	荒川区功労者表彰式 (センター音楽室)	29日	シルバーだより 371号作成
12日	～14日 学園祭(ムーブ町屋)	29日	令和4年度募集要項作成
		30日	新入学・継続申込書作成
		30日	令和3年度支払調書作成

※事務局だより※

1. 講師会について

日時:12月17日(金) 午後1時～ 会場:センター 3階・大会議室

2. 来年度学園祭について

日時:11月11日～13日(金～日) 会場:ムーブ町屋 3階・4階

※年末年始の「事務所のお休み」は12/27(月)～1/4(火)です。
新年、また元気におあいしましょう。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp 室長・田原





シルバーだより

No. 372
令和4年1月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 新年を迎えて —

理事長 岡田 芳子

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えますと初日の出に感謝し、おもわず手を合わせて、「今年もどうぞ元気で一年が過ごせますように。」そして、家族の健康と幸せを願います。きっと皆様も、たとえ家の窓からでも初日の出が見えた時には、同じような気持ちになるのではないのでしょうか。

ところで今年は寅年、「寅は千里を行って千里を帰る」と言われるように強い動物とされています。金運も強い年とされています。でも私達の(?)年齢になりますと、金運は強いにこしたことはありませんが、それより平穏な日々を願うことが第一かと思います。いかがですか。私は80歳になりました。



学生時代の友人と、3か月に一度食事会を行い近況報告をしていました。昨年80歳を記念して温泉旅行を計画していました。ご存じのように、コロナ禍の中旅行は中止になり、2年間食事会も行えませんでした。ただ幸せなことに、電話連絡で皆元気であることが分かり「そのうちね」という言葉で月日が流れました。

平年は、今年目標として、日々のこと、一か月のこと、一年のことの計画を立てていましたが、もう目標を立てないことを目標にしようと思ったのです。

強いて言うならば、今日一日に感謝することでしょうか。



さて、こんな私ですが「公私」という言葉があります。シルバー大学の理事長が“公”であるならば、目標のない理事長なんて情けないと思いませんか。というわけで、立場としての目標は、コロナ禍が落ち着き、(一)平常な学習と行事ができますように、(二)学生・講師の皆様がシルバー大学で学べる・教える喜びが実感できますように、と考えます。自らの努力というより願いごとでしょうか。それでもそのことが、社会とかかわれることであり、生きる力

となるだろうと思います。皆様は、どんな願いを持ちますか。私のように、もし、今日一日に感謝するとしたら、その感謝(楽しかったこと、うれしかったこと等)したことを手帳に書き、明日へとつなげましょう。

よき年でありますように。

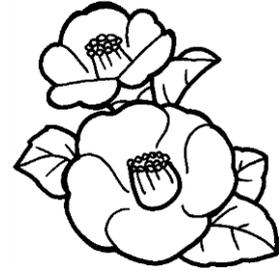
《《 学園祭を終えて 》》

学園祭実行委員長・折り紙絵本教室講師 石崎 恵子

「素晴らしい学園祭でした!」「広々としていて、ゆったり鑑賞出来てよかったです」と、多くの方々から異口同音にそんな感想を寄せて頂きました。

年間行事の組まれた年度初めは、新型コロナウイルス感染拡大の一途をたどっていて、シルバー大学の皆さんの健康安全を守れる形で学園祭実施は可能かどうか、見通しの立たない状況でした。

しかし、「去年も出来なかったし、今年は何とか実施したい。たとえ結果的に出来ない状況になったとしても、やる方向で準備だけはしておきましょう」という学長の言葉を受けて、各教室それなりに準備は進めていたと思います。



けれども、8月には一日の感染者が東京都で5000人を超えるほどに感染は拡大し、各会場の使用制限や条件も厳しくなり、授業の出来ない教室もありました。そんな中で、開催が可能になっても参加を断念せざるを得ない教室や、急ぎ足で仕上げにかかった教室など大変だったことでしょう。その真剣さが作品に反映されていたように思います。コロナ禍の困難な中での学びの様子が生き生きと表現されていて素晴らしかったです。

開会式、閉会式は出来ませんでした。ホールを展示会場に利用し、これまで混雑していた4階の密も解消することができ、ゆったりと鑑賞して頂けたことは、大変好評でした。会場の活用につきましては、ムーブ町屋の担当者から貴重なご助言やご協力を頂きましたことを、感謝と共にここにご報告申し上げます。

展示だけでなく、人流の密を避ける工夫も検討しました。時差をつけた準備作業、片付け作業にご協力頂き、鑑賞も地域ごとの割り当て日時を基本とするなど、皆様のご協力あっての大成功でもありました。役員一同、感謝申し上げます。

2月には学芸会のイベントも待っています。オミクロン株がおとなしくしてくれを祈りながら、安全な企画を楽しみに進めて参りたいと思います。

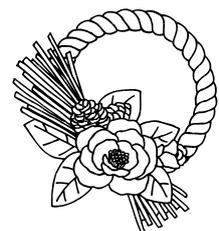
各教室の講師の方から学園祭へのメッセージです。 (其の一)

●パステル・絵の具画教室 — 学園祭に向けて — 永井 克巳

学園祭に向けて気持ちを引き締めて制作に励んできました。

6月は、生花・果物・野菜・ガラス製品をモチーフに静物画に取り組みました。花の生命力、果物の香り、ガラスの透明感など、それぞれ固有の性質や性格を表現できるように努力しました。

7月は、荒川自然公園で写生しました。蒸し暑く厳しい状況でしたが、白鳥の優雅な姿を見ながら楽しく描くことができました。夏の強い光と影、色鮮やかな緑を感じながら、パステルの美しい色調で仕上げました。



パステル・絵の具画教室では、自然のモチーフを通して、その感動を味わいながら制作を進めています。今回の学園祭で、その成果を感じることができましたら幸いです。

●写真教室 — Next One 作品を目ざして — 戸叶 恒夫

2年ぶりの学園祭が終わりました。無事に開催できたことに感謝しています。写真教室は開設10年になりました。教室代表を中心に、学生の熱意で今日を迎えることができました。

学園祭で学生たちが最も苦勞するのは展示作品を選ぶことのようにです。花、風景、スナップなど個人の好みもあります。作品に対するそれぞれの思いもあります。学園祭はコンテストの場ではありません。各自が「皆さん、私の作品を見て下さい」と言える作品を展示できればと思っています。

カメラの性能は年々向上し、誰もが美しい写真を撮ることができます。最近はスマホの方がより美しく撮れる時代です。写真の楽しさは、撮るだけでなく、見る、他人に見せるという楽しさもあります。これからも撮影を楽しみ、仲間の作品から学び「自分の撮りたい写真」を見つけて欲しいと思います。

「それぞれの Next One」を目ざして・・・。

《 令和4年度新しく講師になられる先生方から教室の内容紹介です 》

🌸新設 ヨガ教室 水曜・午前 担当講師 花嶋 薫(る～)

15年プロダンサーとして活躍する中、沖ヨガと出逢う。ヨガの素晴らしさ奥深さに感銘を受け、ヨガを多くの人々へ伝える為、ヨガ講師の資格取得に邁進する。ヨガ哲学、心と体と呼吸の三密、生きる智慧を皆さんと共に学んでいきたいと思っています。

全米ヨガアライアンス RYT200 取得。龍村式ヨガ講師資格取得。シニアヨガ指導資格取得。ロコモヨガメイト。その他資格取得。



🌸書道・金曜教室 講師変更 金曜・午後 担当講師 吉見 翠(松香)

自分の人生を自分らしく生きる。それは、より豊かな人生を自分で作っていくことです。その表現の場として、この教室があります。上手、下手は考えなくていいです。書家の相田みつをさんは「そのままがいいがな」と言ってくれています。あるがままの自分自身を表現し、書を楽しんでほしいと思います。

そのためには、まず①基礎基本を学び直すことです。ここでは美しい文字が書けるコツを教えます。②また、自己表現していくためには、優れた書の鑑賞をする時間も設けたいと思います。心の琴線に触れる作風に出合うことが創作意欲につながっていきますから。③そして、1年の終わりには、自分の好きな言葉を作品に作り上げていきましょう。

経験者は勿論、初めて筆を持つ方でも安心して下さい。一人一人に合った指導を心がけ、お手伝いさせていただきます。

🌸料理教室 講師・時間変更 水曜・午前 担当講師 山崎 眞生子

今日の献立は何にしたらいいのか、スーパーをうろうろしながら考える毎日、自分の好きな食べ物を選んでいませんか。

健康は、運動、栄養、社会参加と言われています。食事はバランスよく食べることが大事です。季節の食材を使用して美味しく簡単な料理を、皆さんで調理をして食べる大切さを考えながら、健康寿命を延ばしてみませんか。

◆◆◆◆◆ 12月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|-----|------------------------------|-----|---------------|
| 1日 | 常任理事会・役員会
(学園祭報告・4年度の件他) | 14日 | 広報委員会 |
| | | 17日 | 講師会 |
| 15日 | 令和4年度年間日程打ち合わせ
(生涯学習センター) | 24日 | シルバーだより372号作成 |

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

12/18 読書・心の旅 12/17 社会科見学 12/16 写真 12/4 読書・心の旅 12/02 今と昔の歴史散歩 12/01 ご挨拶・お知らせ・シルバーだより 11/27 頭の体操 11/26 社会科見学

※事務局だより※

1. 令和4年度受講生募集受付について

在校生を対象に、一月に事前募集を行います。

すべての教室を、一回で申込できます。

(すべての教科) 受付開始：2月4日(金) 時間：午後1時～3時
受付日：2月7日(月) 時間：午前10時～午後3時
受付日：2月8日(火)～17日(木) 時間：午後1時～3時
(土日祝日を除く)

(申し込み会場について)

生涯学習センター内です。(正面玄関に会場を掲示)

(費用について)

運営費については、複数の教科を受講されても1年間一律¥8,000です。
受講料は、1教科1年間5,000～7,000円です。

(申込用紙について)

「継続申込書」＝在校生(白色) 「新入学申込書」＝新入生(ピンク色)

2. 令和4年度の開講教室の曜日・時間帯は下記のようになっております。

/＝午前・午後の時間帯区分 ◎＝午前と午後の授業あり

(月) ◎水彩画・水墨画 / 硬筆・フラダンス

(火) 歌声火曜・書道火曜・◎陶芸・パソコン・ミニ散歩/ 話芸

(水) ※自然と小さな旅・社会科見学・※ヨガ・※料理/ 頭の体操
・折り紙絵本・写真

(木) 絵手紙・華道・◎朗読・輪踊り民舞 / おしゃれニット木曜・健康体操・俳句

(金) 英語・歌声金曜・おしゃれニット金曜 / 今と昔の歴史散歩・気功・茶道・※書道金曜・読書心の旅・パステル絵の具画

(土) 音楽

時間帯変更：(午後⇒午前) 自然と小さな旅・料理/ (午前⇒午後) 書道金曜

新任講師：ヨガ＝花嶋薫(る～)・料理＝山崎眞生子・書道金曜＝吉見翠(松香)

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

室長・田原

令和3年度 荒川シルバー大学 役員一覧

常任理事 ①	理事長	岡田 芳子	名誉学長	原田 治子	事務局室長	田原 弘子	
	学長	木村 國子	学長代行・副理事長	望月 公子	副理事長・企画部	高橋建司(講師)	
	副理事長・ 企画部長	石崎 恵子(講師)	副理事長・講師会会長	水越 絹代(講師)	書記・総務部	立川禮子(講師)	
	副理事長		副理事長・		事務局室長補佐・総務部	榎本 節子	
	総務部長	山口 俊章	講師会副会長	飯嶋 純子(講師)			
	施設部長	高橋 武三 ③	福利厚生部長・企画部		堀内 邦雄(助手)	東日暮里地区長・総務部	尾島ゆう子
	施設部	中田 恭子	企画部	嶋戸由美子	西日暮里地区長	田畑 一枝	
	会計部長・ 企画部	岩崎 芳民	企画部	北潟 園枝③	南千住 地区長	伊東千代子	
	企画部		企画部	太田諏訪子②③	荒川 地区長	山田 紀子	
	会計部	伊ヶ崎元子	広報部	望月 利一(講師)	町屋 地区長	山泉 昭子	
	会計部	入江ユキエ	広報部・施設(機器管理)	高山 順子	東尾久地区長・厚生部	山崎すい子	
	教室代表長	増山美代子③	広報部	市川 弘美③	西尾久 地区長	押江マサヨ	
	教室代表長	伊東 國江③	広報部	片桐 良吉			
	相談役		(元学長) 稲川 君江		会計監査	43. 新井 義三 ①	20. 中田 恭子④
	書類配付係り 塩崎美津江 ・ 宮下貞子						
(地区) 理事 ②	班 長	1. 山口俊章①	11. 西澤 節子	21. 和氣 弘子	31. 松田 和子	41. 篠崎 節江	
	・東日暮里 1~7 ・西日暮里 8~13 ・南千住 14~21 ・荒川 22~29 ・町屋 30~35 ・東尾久 36~41 ・西尾久 42~47	2. 藤田 静江	12. 鶴岡 恵子	22. 加々美八千代	32. 山崎 詩子	42. 難波富久次	
		3. 石川 波江	13. 宣 徳恵	23. 入山 勝子	33. 飯島 芳隆	43. 高橋 信子	
		4. 佐藤 啓子	14. 宮下 貞子	24. 竹内 陽子	34. 山泉昭子①	44. 吉田 淑子	
		5. 太田諏訪子①③	15. 隅田 照子	25. 高野宗四郎	35. 布川 春江	45. 横山 陽子	
		6. 矢野與志子	16. 竹内 文江	26. 佐藤 康子	36. 山崎眞生子③	46. 戸塚 和江	
		7. 竹内 静子	17. 鈴木 正子	27. 大島千恵子	37. 安西 昌子	47. 岡田 正規	
		8. 福島しげ子	18. 小林 敏子	28. 齋藤 和子	38. 今井智枝子		
		9. 田畑 一枝	19. 小磯 教子	29. 西野喜美代	39. 山崎すい子①		
		10. 森戸 陽子	20. 金子たえ子	30. 榎本 節子	40. 中村美妙子		
副班長	35. 高見美津子						
教室代表長	増山美代子			教室代表長	伊東 國江		
(教室) 理事 ③	(月) 教室代表	1 硬筆	37. 小泉 和子	(木) 教室代表	20 絵手紙	36. 山崎眞生子②	
		2 水彩画・午前	41. 橋本 伸枝		21 おしゃれニット・木曜	23. 堀 節子	
		3 水彩画・午後	29. 石橋 國男		22 華道	34. 丸山 一枝	
		4 水墨画	22. 加々美 収		23 健康体操	26. 伊東 國江	
		5 フラ・ダンス	19. 志村眞知子		24 俳句	4. 横須賀とも子	
		6 何でも	47. 寺澤 武		25 朗読・午前	16. 辻原 貞子	
	(火) 教室代表	7 歌声クラブ	3. 加納 麗子	(金) 教室代表	26 朗読・午後	26. 佐藤 康子	
		8 自分史	23. 石井 美晴		27 輪踊り民舞	24. 松島 彰	
		9 書道・火曜	39. 常木 英夫		28 今と昔の歴史散歩	39. 安部 洋一	
		10 陶芸	2. 白石 美鶴		29 歌声・金曜	22. 鳥井 充子④	
		11 東京近郊ミニ散歩	26. 沖田 芳一		30 英語	32. 北潟 園枝	
		12 日本のお話	44. 吉田 淑子		31 おしゃれニット・金曜	33. 湯藤 峯子	
	(水) 教室代表	13 パソコン	47. 安部八千代	(土) 教室代表	32 気功	46. 中沢 玉枝	
		14 頭の体操	26. 上田 瀧子		33 茶道	18. 吉野さち子	
		15 折り紙・絵本	22. 塩崎美津江		34 書道・金曜	16. 石川 絹子	
		16 自然と小さな旅	9. 増山美代子①		35 読書・心の旅	29. 市川 弘美①	
		17 社会科見学	29. 高橋 武三①		36 パステル・絵の具画	5. 太田諏訪子①②	
		18 写真	47. 大塚 秀夫		37 音楽	34. 近藤いさを	
		19 料理	42. 萩田 信江				
(事務局) 理事 ④	福利厚生	22. 鳥井 充子③	施設部	44. 高橋 健治			
	庶務	45. 小黒 初枝					



シルバーだより

No. 373

令和4年2月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 学び続け、そして広げる —

学長代行 望月 公子

新年度に向けて募集が行われる2月は、1年間で一番忙しい月です。

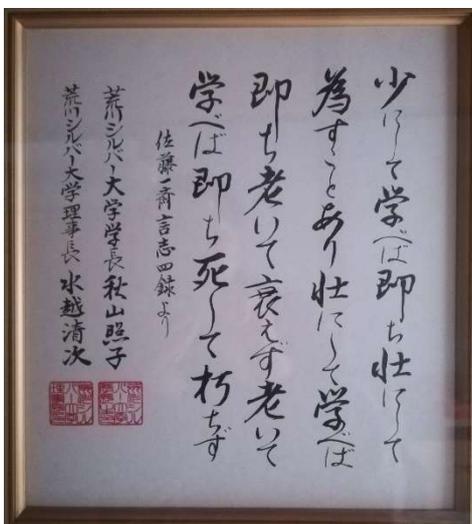
令和4年度は、新設の教室もあり、学生の皆さんは、教室の継続や選択の手続きで忙しいことと思います。数ある教室の中から、自由に選べる学校は、シルバー大学の特色の一つです。

コロナ騒ぎが始まって丸2年。休校や人数制限、教室の変更等々多くの難題を乗り越えつつ1人の感染者も出なかったことは、シルバー大学に関わる全ての人々の意識の高さの証明だと自負しております。

コロナ対策に万全を施しつつ成功裏に終わった学園祭でした。今月は学芸会が計画されていますが、出演する教室の成長ぶりを観るのが楽しみです。私としては、観客・出演者が溶け合う発表会になることを願っています。



内容は前後しますが、先日荒川区長西川太一郎様の年頭の詞をお聞きする機会がありました。『区内を網羅した1年間の発展予想と計画。更に、安心安全、幸せと思いやりに満ちた、実現可能な荒川区ならではの展望』に胸を熱くしました。と同時に『地元は守られていること、そして我々シルバー大学が期待されている役割』について、背筋を正す思いで帰ってきました。



『少にして学ばば即ち壮にして為すことあり 壮にして学ばば即ち老いて衰えず 老いて学ばば即ち死して朽ちず』(佐藤一斎 言志四録より)。これは、大学創設初期の標語です。

「学び そして地元を広げる」。積み上げてきた貴重な経験を生かして、今年もまた新しい第一歩を踏み出しましょう!!

●今と昔の歴史散歩教室 加藤 純成

今年も学園祭は、中止か・・・と、思っていたら、今年は「配慮しながらやりま
す」・・・と決まりました。「とりあえず、前回の展示を参考に考えましょう」

教室代表を中心に、準備が始まりました。毎月出かけた場所を班ごとに模造紙に
まとめることにしました。ホームページを作っていたので、大学のホームページか
ら画面を取り出し、印刷拡大し模造紙に貼り、その回りに資料や学生の感想等を貼
ることに。すると、俳句を貼る人、拾ってきた木の実を貼り付ける人、色々と工夫
しながら作っていました。今年も無事に展示を終えることができました。

●陶芸教室 羽二生 みどり

今年も学園祭が開催でき良かったです。はじめは展示が今までと違いホールにな
るので、不安の方が大きかったですが、展示してみると一人一人の作品が見やすく
他の教室の作品もゆっくり観賞ができ安心しました。来年もホールで展示できれば、
コロナ生活も安全に過ごせると思います。

残念なのは、来場者が少なくなったことと、チャリティーが出来なかったこと
です。チャリティーは時期を見て学校の方で開催できたらと思います。

今回の学園祭で自分の作品を発表する場と、他の人の作品を観賞することが大切
だと再確認しました。一年一年の節目にもなると思いました。

●読書・心の旅教室 木村 國子

「読書・心の旅」は今年度開講した教室です。学園祭には初めての出展で、1年
間も活動していない状況で何をどの様に展示しようか、皆で話し合いました。

まず、授業で今迄読んできた本を展示することにしました。授業時間内で読める
短編で、五木寛之、吉村昭、阿川佐和子、井上ひさし、宇江佐真理等の著作から選
び読んだので、それらの本を各自記録してきた読書ノートと共に展示しました。

夏休み中は、学生が推薦した5冊の長編のうち、自分の好みの本を選んで読み、
同じ本を読んだ者がグループになり、読後感想など出し合った結果を紙上発表しま
した。「マララ」「麻酔科医」「小説八〇五〇」「小説伊勢物語 業平」「夜と霧」と、
いずれも名著と言える本です。

より深く、より広く、読書に親しみ、交流を通して楽しく活動しています。

●東京近郊ミニ散歩教室代表 沖田 芳一

学園祭展示品は6点でパネルに張り付けている。1点は教室の紹介、5点は各班
が散歩した場所を担当し作成している。学園祭が11月に行われると決定後、毎月
1か所の散歩場所は、コロナのため中止になった月があり5か所に満たなかった。
このため前年に訪れた場所も追加し、各班に展示散歩場所を決めてもらった。

6点の展示は次のとおり。1点目：教室の紹介(講師作成)。2-6点目(散歩場所、
散歩日、担当班)。2点目：葛西臨海公園、2020年9月10日、1班。3点目：本土
寺・東漸寺、2020年12月3日、2班。4点目：芭蕉記念館、2021年9月30日、
3班。5点目：南千住史跡散策、2021年3月2日、4班。6点目：細川庭園・椿山
荘庭園散策、2020年2月13日、5班。

前年度の散歩場所を担当した班は、今年再度訪れ再撮影されたようです。早くコ
ロナが収束し予定通り散歩を楽しみたい。

●自然と小さな旅教室助手 — 初めての苔玉造り —

おさ
長 照美

11月10日、学園祭の作品作りのため、好みの植物などを持って会場に集まる。そこには、大量の水苔や苔が袋に納められていた。これは、箭内先生や学生の皆様が、奥多摩まで行って採取してくれたものだ。

苔玉造りの経験者は既に着席し、作品を作り始めている。私を含む初心者5~6人が、世話役の増山さんを講師に、作り方を教えていただいた。花や葉を形よくまとめ、糸で括り、その回りに水苔を巻きまた糸でしばる。糸で巻くそばからパラリパラリと落ちてします。うまくいかないんだなあー。最後は苔を巻きつけ再度糸でしばる。なんとか形ができてきた。11月12日にムーブ町屋に作品を持って集まり、展示する。30数点の力作が並び、展示台が華やかになった。



その後、他の教室の作品を見せていただいたが、陶芸・書道・編物・写真・折り紙等素晴らしい作品ばかり。学生の皆様のご苦勞が偲ばれます。

●水墨画教室 結城 秀翠

去る3月10日から6月30日まで、大腿骨骨折で入院しておりました。脳裏をかすめたのは、『教室、学園祭をどうしましょう』ということ。意地でも実施しなければ、学生の皆さんから電話やメール、お手紙など、励ましのお言葉を戴きました。足が1センチ上がったと喜んだものです。辛いリハビリを乗り越え、まだ杖をつけてですが、何とか歩けるようになりました。

教室も4か月お休み致しましたが、田原さんにご配慮頂き、また学生の皆さんも頑張ってくださいました。今の暈し、白抜き技法になって5年目を迎えます。面白さ、楽しさが少し分かって来たようです。コロナ禍で3名位お休みでしたが、他の方達はほとんど休むこと無く出席して下さいました。学園祭も昨年はコロナ騒ぎで中止となり、今年はどうなることやらと心配致しましたが、無事開催することが出来深く感謝致します。これからも学生の皆さんと共に、更に精進致したいと思います。コロナウィルスが、一日も早く終息致しますように切に願います。

●俳句教室 田中 京

2年ぶりの学園祭開催となりましたが、今回は会場での密を避けるという配慮のため、展示作品の前に交代で立つ当番がなくなりました。そのため、作品について来場者の質問にお答えする人がいないので、一句ごとに作者のコメントを印刷して、展示作品の前に置きました。2年前にも試しに置いてみたのですが、好評で用意したプリントが足りなくなりました。今回は数を増やして用意しましたが、それでも金土日の3日間のうち二日目の土曜の分は午後3時前にはなくなっていました。

今後の改善点としては、用意した作者のコメント集が全くなくなってしまうのを避けるため、配布用とは別にファイルに入れて机の上に置いておく分を用意すると良いのではないかと思います。意味の分からない俳句などをファイルのコメント集を読んで参考にいただき、俳句への理解が少しでも深まる一助になれば、コメント集を全部お持ち帰りいただかなくても、気軽にご利用できることになると思うのです。

●水彩画教室 — 私の学園祭 — 遠藤 光胡

人間は、きれい、美しい等、心に響く思いはいつまでも、と思いながらも、やがては時間と共に薄れていきます。その思いを求めて水彩画教室に辿り着いたシルバード年代の学生達。私にとって学生達のその思いを、一日でも一年でも早く実現させてあげたいという思いが、活動のベースになっています。

教室の活動の中で常に学生の皆さんの絵は目にしていますが、学園祭で全員の絵に接すると、改めて一人一人の進歩の足跡を見つけることが出来ます。

コロナのために少々引き締まった学園祭となりましたが、今後とも、末永く継続することを祈ってやみません。学園祭開催役員の皆さんに感謝！

●絵手紙教室 中島 愛子

去年はコロナ禍の為、学園祭をはじめ、水彩画教室との合同展も中止となり、残念な思いをしたので、完全な復活とは言えなくともまずは学園祭が開催できてよかったです。

会場準備の終了後、皆で展示された絵手紙を眺めていたところ「赤い色を使った作品が多いですね」という感想が上りました。赤い花、トマト、桜桃、草の実等々。それ自体は何ら問題ではないし、今回はたまたまそんな結果になったのかも知れませんが、一寸面白いなと思いました。人間には赤い色に引かれる本能があって、それが描く際のモチーフや出品作品の選択に反映するのでは、などと愚にも付かぬ考えを巡らしたりして。

全体としては、アットランダムな感じに展示してみました。絵手紙の天衣無縫な味わいに合わせたつもりですが、いかがでしたか。

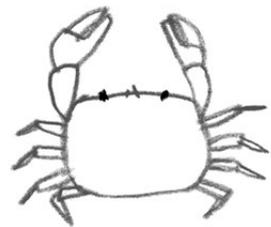
投稿

《《 1万円の越前ガニ 》》

社会科見学教室講師 高橋 建司

今からちょうど40年前の昭和56年、大阪から福井県への“転勤辞令”を受けた。その年の北陸の冬は、20年に一度と言われた“56豪雪”の年。3月だというのに、県庁のある城跡のお堀にはまだ黒くなった雪があった。

その年の暮れ、地元の職員に誘われ三国港の民宿忘年会へ1泊2食4千円で“カニ”を食べに行った。しかし、それに“越前ガニ”1杯が1万円。民宿合計1万4千円。十数人のテーブルの前にはそれぞれ4~50cmカニが1杯。よく見ると、どれもこれも足が1本無い。育つ間に何かの原因で8本あるべき足が7本になってしまったようだ。しかし、味には問題ない。旨い、旨い、とみんな話もせずバリバリ食べた。「忘年会やけに静かなカニづくし」の川柳のまま。はさみで殻を破り足を丸ごと食べたり、カニフォークでほじくり出して、食べるのに夢中になった。



翌日、あまり旨かったので浜へ出てドラム缶で茹で上がった真っ赤な越前ガニを家の土産に購入。何と1杯1万5千円。しかし、このカニは五体満足。これがホテルに行くと2万~2万5千円と言われた。

民宿で食べた“越前ガニ”は足が1本欠けていたので料亭に出せない“訳ありカニ”のため、1万円で食べられたことを後で知った。

令和3年度 荒川シルバー大学

学芸会 プログラム

日時: 令和4年2月28日(月) 午前9時30分～午後4時45分

会場: サンパール 3F 小ホール 受付 9:30～



出演教室(9) 健康体操 英語 日本の話芸 輪踊り民舞

フラダンス 朗読 音楽 気功 歌声クラブ 茶道

教室名	内容	予定時刻
開会式	挨拶 理事長 岡田芳子	9:50～9:55
1 健康体操	安来節 アメージンググレース ロザリオ 見上げてごらん夜の星を オーシャンゼリゼ 他	10:00～10:30
2 朗読	エッセイ「長い旅の途上」より (星野道夫作) 詩「お伽噺」他 (新美南吉作) 「みち」 (谷川俊太郎作)	10:35～11:20
3 日本の話芸	寿限無 川柳 小噺し 笠地蔵	11:25～11:50
4 音楽	七色の鐘 茶色の小びん 赤いサラファン 月の見えない夜は あなたの心に	11:55～12:25
(昼休み)		12:30～13:30
5 フラダンス	月の夜は パパリナラヒラヒ マキーアイラナ 糸	13:35～14:05
6 英語	英語劇 「オズの魔法使い」	14:10～14:50
7 歌声クラブ	思い出の曲によせて	14:55～15:20
8 輪踊り民舞	荒川音頭 につぼん音頭 真室川音頭 ダンシングヒーロー 炭坑節	15:25～15:50
9 気功	心臓の病気の子防 肺臓の病気の子防 腎臓の病気の子防 肝臓の病気の子防	15:55～16:25
閉会式	挨拶 学長 木村國子	16:30～16:40

※ 茶道教室「お茶席」10時～15時 4F 和室にて

(受付時間14時30分まで)



俳句教室

極寒の句より



先生のゆるめに投げる雪合戦
 残照に妖怪となる冬の雲
 有明の月は白銀寒近し
 初日の出東雲清し良き兆し
 寒げいこ素足の指の赤く冷え
 母の余命告げられし帰路寒の星
 鮫鱈の字とうらはらな無残さよ
 せりなずな口ずさみつゝ雪の朝
 二重マスク下こころは自由寒日和

謡
 朋子
 智子
 知恵子
 ふみ子
 文
 みつえ
 悦
 京



2月の行事について

○2月2日(水)の常任理事会・役員会の開催時間帯について

午後0時半～1時半：常任理事会

午後1時半～3時半：役員会

会場 三階 大会議室

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴・・・1/13 ご挨拶・お知らせ・シルバー便り
 12/29 令和4年度募集要項 12/29 今と昔の歴史散歩 12/22 読書・心の旅 12/21 書道・金曜

◆◆◆◆◆ 1月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- | | |
|--|--|
| 6日 各教室における事前募集開始 | 19日 令和4年度年間日程申請(区へ) |
| 12日 常任理事会・役員会 | 21日 区民課へ配付依頼書提出 |
| 17日 区役所 高齢者課・生涯学習課へ
「窓口設置依頼」募集要項・申込
書・ポスター・チラシ | 21日 感染防止による授業中止手続き
歌声・折り紙・音楽・気功・水彩画・朗読・話芸 |
| 18日 広報委員会 | 27日 シルバーだより 373号作成 |

※事務局だより※

1. 令和4年度募集受付の期日・時間・会場について

2月4日(金)：午前10時～午後3時

受付会場：第1会議室

2月7日(月)：午前10時～午後3時

受付会場：大会議室

2月8日(火)～17日(金) 午後1時～3時

受付会場：各小会議室

(土日祭日は休み)

◆追加申込について：初回の領収書をご持参下さい。(運営費の重複支払を防ぐ為)

※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項を記入の上、受講料を添えてお申し込みください。

◆希望教室が定員を満たし次第、締め切らせていただきます。

◆新入学と継続申込用紙の色：新入学はピンク・継続(在校生)は白の用紙です。

(事務局) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 374
令和4年3月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 令和3年度の終わりに —

学長 木村 國子

コロナに影響を受けた令和3年度が終わろうとしています。

昨年度できなかった念願の開講・入学式を、縮小しながらも挙行し、新入生を迎えたのが1年前です。それ以来、教室がコロナワクチン会場に使われたり、感染防止のため教室を変えての授業になり、一部のクラスは授業さえできない状態になりました。講師の方々、学生の皆さんには、大変ご苦労をかけました。

このような状況の中で、区役所各課のご配慮や、区在住の協力者のご援助をいただき、ひろば館、エコセンター、サンパール荒川、私立北豊島学園等の施設を使わせていただき、滞りなく授業ができましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年は見送った学園祭も、厳重なコロナ感染対策をしたうえで、ムーブ町屋で行い、成功、好評を得ました。工夫と検討を重ね、計画してくださった実行委員の方々と、作品に心を込めた皆さんの共労の賜物だと思います。

1年振りに開催できた合同講義では、大野利可先生の横笛の音色に心安らぎ、コロナ禍のひと時に潤いをいただきました。

さて、2回コロナ感染拡大の影響を受け、やむなく中止になった学芸会。今年度こそはと期待し、準備を着実に進めていたことと思いますが、またまた残念ながら、3度目の中止と延期を余儀なくされました。皆さんのがっかりした顔が目には浮かびます。そこで、せめて努力の成果を発表する場を確保したいと考え、6月17日(金)、新年度に改めて学芸会を設定いたしました。所属する旧学生はもとより、新入生にとってもクラスの活動を知る良い機会になると思います。

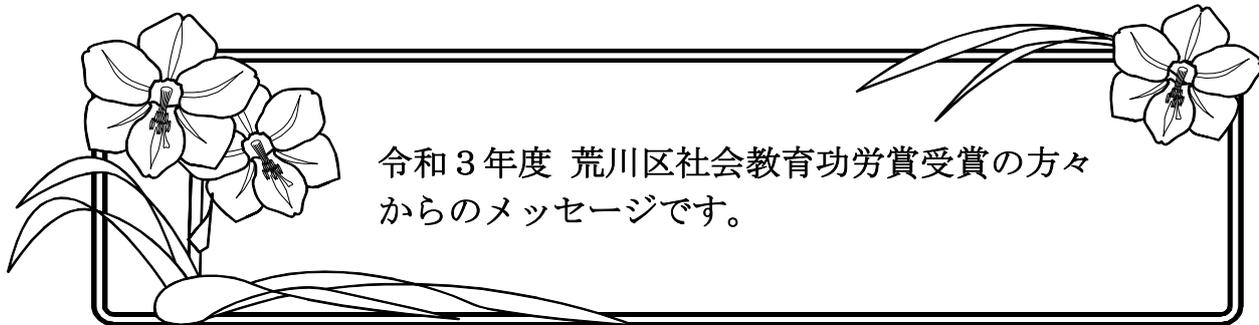
3月は、いよいよ1年間の最後の月、まとめの月です。1年間を振り返って、自分を見つめ直し、褒めてあげませんか？良い所を見付けるのは、とても大切なことです。

例えば、「1年間、足が痛いのに頑張って通った。クラスで新しいことを学んだ。閉じこもらずに、友と交流できた。視野が開けた」等々。

自分に優しくできる人は、人にも優しくできるそうです。自己を肯定し、自信を持ち、希望を失わず暮らせるといいですね。

3月22日(火)は、閉講・卒業式があります。それぞれの大切な1年間を振り返り、明日につなげましょう。





令和3年度 荒川区社会教育功労賞受賞の方々
からのメッセージです。

《《 荒川区功労賞について 》》

音楽教室講師 飯島 純子

この度、先生方のご推薦により荒川区社会教育功労賞を受賞させて頂きまして、誠に有難うございました。講師となり何年経ったかとあまり気に留めることもなく過ごして来ましたので、長い間やって来たのと、今回あらためて感じた次第です。

平成12年に前任の先生がご病気ということで、私はピンチヒッターとして教室に伺いました。小学生の頃から存じ上げている原田治子先生が声をかけて下さり、そのまま音楽教室の講師として続けていくことになり現在に至っています。

私が講師となってから一体何曲位歌ってきたのだろうと楽譜を数えてみました。およそ80曲位に達しているとわかり、たくさんの歌を皆さんと歌ってきたことに感慨深いものがあります。現在はコロナ禍で不自由な時期が続いていますが、これからも皆さんの心に残るような歌をコーラスしていければ、と思います。

荒川区で生まれ育った区民として今回の賞を励みとし、音楽を通して地域のお役に立てるよう微力ながらやってまいりたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

《《 ありがとうございます 》》

東日暮里地区長 尾島 ゆう子

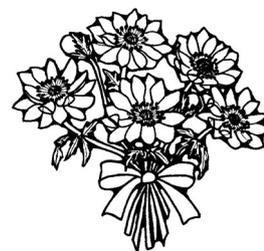
このたびは荒川区の功労賞をいただきまして、ありがとうございます。

シルバー大学に通いだして、1年か2年経った頃、娘が唐突に『ママ達は、感謝しなければいけない。ただみたいなお金で(娘の言葉です)、場所があって、その上先生までついて学べるなんて、感謝しなければいけない。私達の頃には、そんな所は無くなっているに違いない』と。

その途端に思い出したのは、先生方が、『この学校は、学生が自主的に運営している学校です』と、異口同音におっしゃっていた言葉です。

自分の中で、娘が入る頃までは無理ですが、次の世代の方に渡すまでは、微力ですが、お手伝いさせていただかなければと思いました。

この楽しい教室を長く続けて下さることを願っています。これからも、大きなことはできませんが、お手伝いさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



●折り紙・絵本教室 — クラスの輪が深まって — 石崎 恵子

今年は、花の立体作品に取り組みました。一通り基本をマスターすると、思い思いにどんどん個性的な世界を広げて、鉢植えあり、盛花あり、盆栽あり…と創意工夫がなされ、素敵なフラワー・ワールドが展開されていきました。何よりもうれしかったのは、必要に応じて教え合い助け合いが班を中心になされ、楽しみながら、人間関係も深めていったことです。

(感想紙より)・大変でしたが、班長さんにへばりついて何とかできたことが、とても嬉しかったです。・病院通いで欠席しがちでしたが、皆さんに助けていただいて楽しく折ることができました。・作品作りをしながらの雑談に心がほっこり。・新しい方も熱心で、教え合い助け合い、皆や石崎先生の優しい対応にアットホームな素晴らしいクラスだと思います。



●頭の体操教室 — 地道な努力 — 水越 絹代

頭の体操教室は、授業の時に作品を作ることができないので、夏休みの間に考えてきてもらっています。今年の夏は、東京オリンピック・パラリンピックがあり、コロナの感染者数も激増したので、その内容の「あいうえお作文」を作ってきた学生さんも多くいらっしゃいました。

ご覧になった方から「よく言葉が思いつきますね!」と言われますが、お教室では毎回『読み・書き・計算』を地道に練習して脳を鍛えていますので、学生さんたちは様々な言葉や文章を編み出すことができるのだと自負しております。ご来場の皆様に問題を解いてもらう「体験コーナー」を、今年は密を避けるためできませんでしたが、来年は再開できることを願っています。

●パソコン教室 — パソコンで楽しい作品を作る — 望月 利一

今回の学園祭は、全員で動画作りという同じ課題に取り組むことになりました。パソコンに不慣れな方もおられましたが、パソコン教室はここ数年、継続して受講される方も増え、お互い、教え合って楽しい作品を作ることができたと思います。

パソコン教室では、これからも、パソコンを使って、楽しい作品作りに取り組んでいきたいと思っています。

コロナの感染拡大が続いているために、シルバー大学においても、休講にしている教室もあり、大学の行事も延期や縮小をせざるを得ない状況です。

それでもシルバー大学の学生さんは、毎日明るくお過ごしのことと思います。

皆さんが家庭や地域で実践していらっしゃる、『コロナ禍でも楽しく暮らす知恵や方法』等がございましたら、是非シルバーだよりに投稿して下さい。

もちろん、他の内容の投稿も歓迎いたします。

広報部一同、皆様からの投稿を心よりお待ちしております。 (広報部)

☆ 令和3年度 閉講・卒業式・表彰状授与式 ☆

期日：3月22日（火） 会場：サンパール荒川 小ホール

- ① 閉講・卒業式 10時～11時 ② 表彰状授与式 11時20分～12時
上記のとおり、時間差を設けて別々に行います。

.....

☆令和3年度 学芸会の期日変更について☆

令和4年2月28日（月）に予定されていた「令和3年度 学芸会」は、新型コロナウイルスの感染防止対策として6月17日（金）に延期となりました。

◆◆◆◆◆ 2月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1日 令和4年度学芸会会場申請(施設部) | 15日 広報委員会 |
| 2日 三役・各部長・地区長・教室代表長
計16名による役員会 | 22日 閉講・卒業式・表彰状授与式
受賞者名簿作成/案内葉書作成 |
| 4日～17日 令和4年度募集受付 | 25日 シルバーだより374号作成 |

※荒川シルバー大学ホームページ更新履歴

2/08 パステル絵具画 2/02 ご挨拶・お知らせ・シルバー便り 1/26 読書・心の旅

※ 事務局だより ※

1. 令和4年度の募集申込み受付について

4年度の募集受付が無事終了致しました。区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、施設管理課、生涯学習センター他、皆様より多大なるご協力をいただき心より感謝申しあげます。また役員の方々には、お手伝い頂きありがとうございました。

2. 受講生二次募集について 各教室の若干名の追加募集を致します。

日時：3月7日（月）～9日（水） 時間：13時～15時 会場：シルバー事務所

※尚、外歩き教室については、複数の申し込みが可能となりました。

3. 『写真教室 第8回作品展』のお知らせ

期日：3月20日（日）～25日（金） 時間：9時～午後20時

会場：サンパール荒川 ARAKAWA1-1-1 ギャラリー（初日は12時～最終日は15時まで）



4. 『水彩画教室・絵手紙教室発表会』のお知らせ

期日：4月4日（月）～10日（日） 時間：10時～18時

会場：町屋文化センターふれあい広場（初日は13時～最終日は16時まで）

（事務所）TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原